

2020年度高大連携履修生開講科目一覧

科目名称	教員名称	ページ
フランス語初級 1 A	ラモン アントワーヌ	1
フランス語初級 1 B	ラモン アントワーヌ	2
英米小説と批評 A	和泉 邦子	3
英米小説と批評 B	和泉 邦子	4
アメリカ文化論 A	日野原 慶	5
アメリカ文化論 B	日野原 慶	6
英米文学とキリスト教 A	氏家 理恵	7
英米文学とキリスト教 B	氏家 理恵	8
英語の歴史 A	小池 剛史	9
英語の歴史 B	小池 剛史	10
ウェールズの文化とことば A	小池 剛史	11
ウェールズの文化とことば B	小池 剛史	12
ドイツ語初級 1 A	シュミット ディータ	13
ドイツ語初級 1 B	シュミット ディータ	14
文学と精神分析 A	生駒 久美	15
文学と精神分析 B	生駒 久美	16
財政・公共経済特論 (地方財政 A)	菅野 早紀	17
財政・公共経済特論 (地方財政 B)	菅野 早紀	18
現代社会の諸問題 (生協社会論)	中村 年春	19
キャリア特別講座 (日本の企業社会 A)	中村 年春	20
キャリア特別講座 (日本の企業社会 B)	中村 年春	21
企業と経営者 A	国府 俊一郎	22
企業と経営者 B	国府 俊一郎	23
環境経営 I	鶴田 佳史	24
環境経営 II	鶴田 佳史	25
東南アジア地域研究 3 (東南アジア経済とグローバル化)	遠藤 元	26
東南アジア地域研究 4 (東南アジアの暮らしと経済)	遠藤 元	27
比較文化特殊講義 (現代社会の宗教とスピリチュアリティ)	小尾 淳	28
比較文化特殊講義 (現代社会の宗教とスピリチュアリティ)	小尾 淳	29
東南アジア地域研究 5 (東南アジア近代史)	中野 亜里	30
東南アジア地域研究 6 (東南アジア現代史)	中野 亜里	31
南アジア地域研究 9 (シルクロード文化論)	勝木 言一郎	32
文化財マネジメント I	勝木 言一郎	33
仏教文化論 A	勝木 言一郎	34
仏教文化論 B	勝木 言一郎	35

フランス語初級 1 A

担当教員	ラモン アントワーン
曜日・時限・開講期	月曜日 3時限 前期
期間	前期
授業形態	演習
学年	1年生
単位	1
開講キャンパス	板橋

授業の概要	初めてフランス語を学ぶ学生を対象にした授業です。フランス語の基礎を学びながら実際に先生・他の学生と会話のコミュニケーションに取り組みます。
授業の到達目標	自己紹介、家族、好き嫌いなどのテーマの範囲で簡単なフランス語で口頭表現、聴解力、読解力と筆記表現を身につけます。
授業の形態	まず、先生の言うことを聞き、ゆっくりと自然に簡単なパターンを覚えながら、他の学生とやりとりをします。次に文法を身につけ、練習問題、会話、短いテキストなどを使いながら基礎を応用します。

授業 計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	L1：自己紹介をする（名前、国籍、出身地を言う）	ラモンアントワーン
	第2回	L1：自己紹介をする（名前、国籍、出身地を言う）	ラモンアントワーン
	第3回	L2：人について語る（職業、住んでいる所、話せる言語を言う）	ラモンアントワーン
	第4回	L2：人について語る（職業、住んでいる所、話せる言語を言う）	ラモンアントワーン
	第5回	L3：持ち物についてたずねる	ラモンアントワーン
	第6回	L3：持ち物についてたずねる	ラモンアントワーン
	第7回	L4：好き嫌いを言う	ラモンアントワーン
	第8回	L4：好き嫌いを言う	ラモンアントワーン
	第9回	L5：行き先を言う	ラモンアントワーン
	第10回	L5：行き先を言う	ラモンアントワーン
	第11回	L6：家族を紹介する	ラモンアントワーン
	第12回	L6：家族を紹介する	ラモンアントワーン
	第13回	応用1：日付を言う	ラモンアントワーン
	第14回	応用2：カフェで注文する	ラモンアントワーン
	第15回	総まとめ	ラモンアントワーン

授業外の学習	授業で勉強した表現、語彙、動詞などを、次の授業日までに改めて復習することが望ましい。 宿題を授業の直前ではなく、遅くとも前日にすること。 辞書を使わずに今まで習ったことを使って発言するように努めること。 授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して1時間。週におおよそ1時間程度を授業外の学習にあててください。
--------	--

教科書	『Nouveau On Pratique！ 新オン プラティック！』（北村亜矢子、Vincent Durrenberger著、朝日出版社） ISBN 978-4-255-35274-9 本体2300円+税
-----	--

参考文献など	日仏辞典を買う必要はありません。なお、補足資料を授業で配布します。
--------	-----------------------------------

成績評 価の方 法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	0	なし
	実技評価	50	授業内で実施する口頭発表など
	レポート評価	0	なし
	平常点評価	50	小テスト、動詞の活用、宿題、授業での発言、グループワークへの参加度など
その他	0	なし	

履修上の注意	特になし
--------	------

連絡先・連絡方法など	学部事務室へ伝言
------------	----------

その他	簡単な基礎をしっかりと身につけるための授業なので、ゆっくり進めます。恥ずかしがらず、間違いを恐れず、楽しくフランス語を学びましょう。授業に積極的に参加し、復習もまじめにすれば、誰でも話せるようになるので安心して履修して下さい。
-----	---

フランス語初級 1 B

担当教員	ラモン アントワーズ
曜日・時限・開講期	月曜日 3時限 後期
期間	後期
授業形態	演習
学年	1年生
単位	1
開講キャンパス	板橋

授業の概要	初めてフランス語を学ぶ学生を対象にした授業です。フランス語の基礎を学びながら実際に先生・他の学生と会話のコミュニケーションに取り組みます。
授業の到達目標	自己紹介、家族、好き嫌いなどのテーマの範囲で簡単なフランス語で口頭表現、聴解力、読解力と筆記表現を身につけます。
授業の形態	まず、先生の言うことを聞き、ゆっくりと自然に簡単なパターンを覚えながら、他の学生とやりとりをします。次に文法を身につけ、練習問題、会話、短いテキストなどを使いながら基礎を応用します。

	回数	授業内容	担当教員
	授業 計画	第1回	L7：食べ物、飲み物などを勧める
第2回		L7：食べ物、飲み物などを勧める	ラモンアントワーズ
第3回		L8：位置関係を示す	ラモンアントワーズ
第4回		L8：位置関係を示す	ラモンアントワーズ
第5回		L9：贈り物の相談をする	ラモンアントワーズ
第6回		L9：贈り物の相談をする	ラモンアントワーズ
第7回		L10：過去の行為、出来事を語る1	ラモンアントワーズ
第8回		L10：過去の行為、出来事を語る1	ラモンアントワーズ
第9回		L11：過去の行為、出来事を語る2	ラモンアントワーズ
第10回		L11：過去の行為、出来事を語る2	ラモンアントワーズ
第11回		L12：過去の状態や習慣を語る、感想を述べる	ラモンアントワーズ
第12回		L12：過去の状態や習慣を語る、感想を述べる	ラモンアントワーズ
第13回		応用3：日常を語る	ラモンアントワーズ
第14回		応用4：計画について語る	ラモンアントワーズ
第15回		総まとめ	ラモンアントワーズ

授業外の学習	授業で勉強した表現、語彙、動詞などを、次の授業日までに改めて復習することが望ましい。 宿題を授業の直前ではなく、遅くとも前日にすること。 辞書を使わずに今まで習ったことを使って発言するように努めること。 授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して1時間。週におおよそ1時間程度を授業外の学習にあててください。
--------	--

教科書	『Nouveau On Pratique！ 新オン プラティック！』（北村亜矢子、Vincent Durrenberger著、朝日出版社） ISBN 978-4-255-35274-9 本体2300円+税
-----	--

参考文献など	日仏辞典を買う必要はありません。なお、補足資料を授業で配布します。
--------	-----------------------------------

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	0	なし
実技評価	50	授業内で実施する口頭発表など	
レポート評価	0	なし	
平常点評価	50	小テスト、動詞の活用、宿題、授業での発言、グループワークへの参加度など	
その他	0	なし	

履修上の注意	特になし
--------	------

連絡先・連絡方法など	学部事務室へ伝言
------------	----------

その他	簡単な基礎をしっかりと身につけるための授業なので、ゆっくり進めます。恥ずかしがらず、間違いを恐れず、楽しくフランス語を学びましょう。授業に積極的に参加し、復習もまじめにすれば、誰でも話せるようになるので安心して履修して下さい。
-----	---

英米小説と批評 A

担当教員	和泉 邦子
曜日・時限・開講期	火曜日 4時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	英米小説／文化におけるフェミニズム批評やジェンダー的視点について学んでいく。テキスト分析だけでなく、映画などの媒介も通して、身近なテーマでありながら、批判的視点を持つことが難しいパースペクティブについて考察していきたい。
授業の到達目標	ジェンダーの視点を持つことによって、英米小説／文化について、フェミニズム批評を取り入れた思索ができるようにする。
授業の形態	講義と演習の併用。

授業 計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	イントロダクション『ファンタジーの世界』おとぎ話に構造化されたジェンダー	和泉邦子
	第2回	「シンデレラ・コンプレックス」と「白雪姫コンプレックス」	和泉邦子
	第3回	「守られるお姫さま／守るお姫さま」---あなたが選ぶのはどっち？ ---	和泉邦子
	第4回	英国ヴィクトリア朝時代に強化されたジェンダー構造 --「家庭の天使」と片隅の女たち--	和泉邦子
	第5回	ヴィクトリア朝時代における「働く女」--governess問題--	和泉邦子
	第6回	governess物語としての『ジェイン・エア』が内包するジェンダー問題	和泉邦子
	第7回	映画鑑賞：『ジェイン・エア』(I)	和泉邦子
	第8回	映画鑑賞：『ジェイン・エア』(II)	和泉邦子
	第9回	中間テスト	和泉邦子
	第10回	ヘンリー・ジェイムズ『ねじの回転』をヴィクトリア朝期governess問題として読む	和泉邦子
	第11回	映画鑑賞：『ねじの回転』(I)	和泉邦子
	第12回	映画鑑賞：『ねじの回転』(II)	和泉邦子
	第13回	19世紀英国帝国主義とその植民地からの応答 --ポスト・コロニアリズムとフェミニズム--	和泉邦子
	第14回	『ジェイン・エア』／『広い藻の海』／『ねじの回転』--governess問題からの比較 --	和泉邦子
第15回	期末テスト	和泉邦子	

授業外の学習	自宅での課題については、適宜、指示する。 授業外の学習に必要な時間は1回の授業につき4時間。		
教科書	プリント		
参考文献など	特になし。 授業で、適宜、指示する。		
成績評 価の方 法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	70	中間35 期末35
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	0	特になし
	平常点評価	30	授業での発表、参加度
	その他	0	特になし
履修上の注意	特になし		
連絡先・連絡方法など	授業の前後に質問を受け付ける。		
その他	特になし		

英米小説と批評 B

担当教員	和泉 邦子
曜日・時限・開講期	火曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	英米小説／文化におけるフェミニズム批評について学び、ジェンダーの視点から分析していくアプローチの仕方を提示します。映画などの媒介も交えて、身近なテーマでありながら、批判的視点を持つことが困難なパースペクティブについて考察できるようにしていきたいと思います。
授業の到達目標	フェミニズム批評を学ぶことによって、ジェンダーの視点に関心を持ち、英米小説／文化について、日本文化とも比較しながら、自分自身の考えを明確にすることができるようにする。
授業の形態	講義と演習の併用

授業 計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	イントロダクション 19世紀アメリカ古典児童文学の隆盛について	和泉邦子
	第2回	アメリカ古典児童文学における「少年の成長物語」と「少女の成長物語」のジェンダー的非対称性	和泉邦子
	第3回	映画『ハックルベリー・フィン』を観る(I)	和泉邦子
	第4回	映画『ハックルベリー・フィン』を観る(II)	和泉邦子
	第5回	帝国アメリカと少年像 ハックとトム像の比較	和泉邦子
	第6回	『ハックルベリー・フィン』の結末をめぐる批評について	和泉邦子
	第7回	中間テスト	和泉邦子
	第8回	『若草物語』をめぐるフェミニズム批評について (Alternative Alcott像の再解釈)	和泉邦子
	第9回	映画『若草物語』を観る(I)	和泉邦子
	第10回	映画『若草物語』を観る(II)	和泉邦子
	第11回	『若草物語』の結末をめぐる問題提起 Young Jo/Adult Jo] 『若草物語』の結末をめぐる議論について 「Young Jo/Adult Jo」の自己分裂	和泉邦子
	第12回	『若草物語』と『仕事』を「分けるもの／繋ぐもの」	和泉邦子
	第13回	映画『めぐりあう時間たち』を観る(I)	和泉邦子
	第14回	映画『めぐりあう時間たち』を観る(II) ジェンダーとセクシュアリティについての考察	和泉邦子
第15回	期末テスト	和泉邦子	

授業外の学習	自宅での課題については、適宜、指示する。 授業外の学習に必要な時間は1回の授業につき4時間。		
教科書	プリント		
参考文献など	特になし		
成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	80	中間40 期末40
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	0	特になし
	平常点評価	20	授業での発表、参加度
	その他	0	特になし
履修上の注意	特になし		
連絡先・連絡方法など	授業の前後に質問を受け付ける。 文学部事務室へ伝言してください。		
その他	特になし		

アメリカ文化論 A

担当教員	日野原 慶
曜日・時限・開講期	水曜日 4 時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	3 年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	<p>アメリカの歴史において重要な人物の演説を年代順に辿ることで、アメリカの文化や歴史を辿ります。演説を聞いた後（時々ディクテーションもやります）、演説の文章を読みながら、演説が読まれるアメリカの文化的、歴史的背景を探ります。</p> <p>アメリカ史を学びながら、アメリカ史に関連する出来事（格差問題、人種・移民問題、中絶問題、#me too 問題、環境問題、LGBT問題）や2020年大統領選といった今日的なトピックにも言及します。</p>
授業の到達目標	<p>(1)演説を聞き、演説の内容を細かく読むことで、リスニング力、リーディング、ポキアブラリーの力を高めます。</p> <p>(2)歴史に残る名演説を読むことでアメリカ史の概略を理解し、アメリカにおいて何が理想とされてきたのか、またどのような社会問題が焦点になってきたのかを理解し、アメリカの歴史・文化への理解を深めます。</p> <p>(3)ディスカッションを通じてアメリカの歴史、文化が私たちの歴史や文化、ものの見方にどのような影響を及ぼしているかを考えていきます。</p>
授業の形態	<p>講義形式で基本的に進めていきますが、学生によるプレゼンテーションや教室内でのディスカッションも織り交ぜていきます。</p> <p>授業の理解を深めるために、CDやDVDも用います。</p>

	回数	授業内容	担当教員
授業計画	第1回	イントロダクション、授業の説明、自己紹介および自己紹介文の作成	日野原慶
	第2回	1. Patrick Henry, "Give Me Liberty, or Give Me Death!"	日野原慶
	第3回	2. Thomas Jefferson, "All Men Are Created Equal"	日野原慶
	第4回	3. Red Jacket, "The Great Spirit Does Right"	日野原慶
	第5回	4. Frederick Douglas, "What to the American Slave Is your Fourth of July?"	日野原慶
	第6回	奴隷制に関する理解を深める映画を鑑賞する	日野原慶
	第7回	映画鑑賞および映画のディスカッション	日野原慶
	第8回	5. Abraham Lincoln, "Government of the People, by the People, for the People"	日野原慶
	第9回	6. Susan B. Anthony, "Are Women Persons?"	日野原慶
	第10回	7. Theodore Roosevelt, "Speak Softly, and Carry a Big Stick"	日野原慶
	第11回	9. W.E.B. Du Bois, "We Want the Constitution of the Country Enforced"	日野原慶
	第12回	10. Woodrow Wilson, "The World Must Be Made Safe for Democracy"	日野原慶
	第13回	11. Emma Goldman, "First Make Democracy Safe in America"	日野原慶
	第14回	13. Franklin Roosevelt, "A Date Which Will Live in Infamy"	日野原慶
	第15回	まとめ	日野原慶

授業外の学習	宿題として指定した箇所CDを聞いてきてもらい、その演説をあらかじめ読んできてもらいます。分からない単語は調べてきてもらいます。授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間です。
--------	---

教科書	上岡伸雄『名演説で学ぶアメリカの歴史』（研究社）2006年。 プリント
-----	--

参考文献など	必要に応じて紹介します。
--------	--------------

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	60	選択・記述問題 (試験時間 60分)
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	0	授業でプレゼンテーションをしなかった・できなかった場合、アメリカ史に残る人物に関するレポート（A4 2枚）を提出してもらいます。
	平常点評価	20	授業で取り上げる人物のプレゼンテーションを15分から20分ほどしてもらい、その内容で評価します。また提出物点も入ります。
その他	20	出欠点：持ち点を20点とし、遅刻するたびにマイナス2点、欠席するたびにマイナス4点減点します。出席率が3分の2に満たない場合は評価の対象外とします。	

履修上の注意	予習を前提とします。授業中、必ず辞書を持参してください。
--------	------------------------------

連絡先・連絡方法など	授業開始時に伝えます。
------------	-------------

その他	積極的な授業参加を評価します。
-----	-----------------

アメリカ文化論B

担当教員	日野原 慶
曜日・時限・開講期	水曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	<p>前期に引き続き、第二次世界大戦以降のアメリカ史において重要な人物の演説を年代順に辿ることで、アメリカの文化や歴史を概観していきます。</p> <p>演説を聞いた後（ディクテーションも含む）、演説の文章を読みながら、演説が読まれるアメリカの文化的、歴史的背景を幅広く探ります。</p> <p>その際、2020年大統領選をはじめ、人種・移民問題、#me too、中絶問題、環境問題など、今日的なトピックにも言及します。クラス内のディスカッションを通じて、そうした問題を皆で考え、理解を深めます。</p>
授業の到達目標	<p>(1)演説を聞き、演説の内容を細かく読むことで、リスニング力、リーディング、ヴォキャブラリーの力を複合的に高めます。</p> <p>(2)歴史に残る名演説を読むことでアメリカ史の概略を理解し、アメリカにおいて何が理想とされてきたのか、またどのような社会問題が焦点になってきたのかを理解し、教養を深めます。</p> <p>(3)ディスカッションを通じて、アメリカの歴史、文化が私たちの歴史や文化、ものの見方にどのような影響を及ぼしているかを考えていきます。</p>
授業の形態	<p>講義形式で基本的に進めていきますが、学生によるプレゼンテーションも織り交ぜていきます。</p> <p>授業の理解を深めるために、CDやDVDも用います。</p>

	回数	授業内容	担当教員
	授業計画	第1回	14. Harry S. Truman "We Must Assist Free Peoples"
第2回		第二次世界大戦に関する映画を鑑賞する	日野原慶
第3回		映画鑑賞後、ディスカッションをする	日野原慶
第4回		15. Albert Einstein, "The Fate of Our Civilization"	日野原慶
第5回		17. Rachel Carson, "We Are Part of the Whole Stream of Life"	日野原慶
第6回		18. John F. Kennedy, "Ask What You Can Do for Your Country"	日野原慶
第7回		19. Martin Luther King, "I Have a Dream"	日野原慶
第8回		25. Betty Friedan, "The Real Sexual Revolution"	日野原慶
第9回		26. Frank James, "We Are Indians!"	日野原慶
第10回		27. Richard Nixon, "I Shall Resign the Presidency"	日野原慶
第11回		Michael Jackson, "Love Is the Human Family's Most Precious Legacy." (プリント)	日野原慶
第12回		28. George W. Bush, "Axis of Evil"	日野原慶
第13回		Noam Chomsky, "Everybody's Liable to Attack" (プリント)	日野原慶
第14回		30. Hilary Rodham Clinton, "Today Roe Is in More Jeopardy Than Ever"	日野原慶
第15回		まとめ	日野原慶

授業外の学習	宿題として指定した箇所のCDを聞いてきてもらい、その演説をあらかじめ読んできてもらいます。分からない単語は調べてきてもらいます。授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間です。		
教科書	上岡伸雄『名演説で学ぶアメリカの歴史』（研究社）2006年。 プリント		
参考文献など	必要に応じて紹介します。		
成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	60	選択・記述問題
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	0	授業でプレゼンテーションをしなかった・できなかった場合、アメリカ史に残る人物に関するレポート（A4 2枚）を提出してもらいます。
	平常点評価	20	授業で取り上げる人物のプレゼンテーションを15分から20分ほどしてもらい、その内容で評価します。また課題の提出点。
その他	20	出欠点：持ち点を20点とし、遅刻するたびにマイナス2点、欠席するたびにマイナス4点減点します。出席率が3分の2に満たない場合は評価の対象外とします。	
履修上の注意	予習を前提とします。授業中、必ず辞書を持参してください。		
連絡先・連絡方法など	授業開始時に伝えます。		
その他	積極的な授業参加を評価します。		

英米文学とキリスト教A

担当教員	氏家 理恵
曜日・時限・開講期	木曜日 4時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	英語圏文化の背景には、聖書とシェイクスピアとマザー・グースがあると言われる。英米文学作品も、聖書やキリスト教についての知識を持っていると、より楽しく深く味わえる。本講義では、『旧約聖書』を中心に、聖書の重要なエピソードやキリスト教的な概念を確認するとともに、聖書に書かれている有名な物語のモチーフがどのように英米文学作品で使用されているか、また、キリスト教的な世界観・人間観などがどのように描かれているかをみていく。また、キリスト教と文学との影響関係についても考察する。
授業の到達目標	1. 聖書の代表的な物語や登場人物、事物について説明できる。 2. 聖書のエピソードが文学作品に使われた場合、聖書の記述との共通点・相違点を指摘でき、作品に使われている目的やその意義を考察することができる。 3. 聖書の基本的な知識やキリスト教的な考え方が英米文学作品の根底にあることが理解できる。
授業の形態	講義形式で行う。また、毎回の授業時間の最後に、確認テストか、その回の内容についての意見や感想を述べるミニツツノートを課す。

	回数	授業内容	担当教員
授業 計画	第1回	イントロダクション	氏家理恵
	第2回	キリスト教とは？	氏家理恵
	第3回	『聖書』とは？－英米文学における『聖書』の知識の重要性	氏家理恵
	第4回	旧約聖書 1 天地創造：C・S・ルイス『魔法使いのあい』	氏家理恵
	第5回	旧約聖書 2 人の創造：マーク・トウェイン『アダムとイブの日記』	氏家理恵
	第6回	旧約聖書 3 人の墮落：メアリ・シェリー『フランケンシュタイン』	氏家理恵
	第7回	旧約聖書 4 カインとアベル：ジョン・スタインベック『エデンの東』	氏家理恵
	第8回	旧約聖書 5 ノアの箱舟：C・S・ルイス『魔法使いのあい』	氏家理恵
	第9回	旧約聖書 6 契約の虹：ウィリアム・ワーズワース「虹」	氏家理恵
	第10回	旧約聖書 7 バベルの塔：ウィリアム・ワーズワース『序曲』	氏家理恵
	第11回	旧約聖書 8 モーセの物語：ウィリアム・シェイクスピア『ヴェニスの商人』	氏家理恵
	第12回	旧約聖書 9 サムソンとデリラ：キャロル・グレゴリー「ラブ・レター」	氏家理恵
	第13回	旧約聖書 10 油を注がれた王：ウィリアム・シェイクスピア『リチャード2世』	氏家理恵
	第14回	旧約聖書 11 ダビデとソロモン：『アブサロム！アムサロム！』	氏家理恵
	第15回	『旧約聖書』の物語と英米文学まとめ	氏家理恵

授業外の学習	聖書関連資料・文学作品例は随時プリントを配布する。 また、テーマごとに、関連する聖書の記述部分と文学作品からの引用文の予習を課す。 文学作品・『聖書』からの引用プリントは必ず予習しておくこと。 授業外の学習に必要な時間は1回の授業につき平均4時間となる。		
教科書	なし		
参考文献など	『聖書』（新共同訳）日本聖書協会		
成績評 価の方 法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	30	期末テスト
	実技評価	0	課さない
	レポート評価	0	課さない
	平常点評価	50	授業参加度・ミニツツノート・小テスト
その他	20	予習・復習課題	
履修上の注意	引用作品の予習は必ずすること。授業には辞書を持参すること。意欲的な学生を求める。		
連絡先・連絡方法など	E-mail address : r_ujiie@seigakuin-univ.ac.jp		
その他	英米文学についての概論的・歴史的な知識を修得している意欲的な学生の受講を求む。		

英米文学とキリスト教 B

担当教員	氏家 理恵
曜日・時限・開講期	木曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	英語圏文化の背景には、聖書とシェイクスピアとマザー・グースがあるとされる。英米文学作品も、聖書やキリスト教についての知識を持っていると、より楽しく深く味わえる。本講義では、『新約聖書』を中心に、聖書の重要なエピソードやキリスト教的な概念を確認するとともに、聖書に書かれている有名な物語のモチーフがどのように英米文学作品で使用されているか、また、キリスト教的な世界観・人間観などがどのように描かれているかをみていく。また、キリスト教と文学との影響関係についても考察する。
授業の到達目標	1. 聖書の代表的な物語や登場人物、事物について説明できる。 2. 聖書のエピソードが文学作品に使われた場合、聖書の記述との共通点・相違点を指摘でき、作品に使われている目的やその意義を考察することができる。 3. 聖書の基本的な知識やキリスト教的な考え方が英米文学作品の根底にあることが理解できる。
授業の形態	講義形式で行う。また、毎回の授業時間の最後に、確認テストか、その回の内容についての意見や感想を述べるミニツツノートを課す。

	回数	授業内容	担当教員
授業計画	第1回	イントロダクション—ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の関係は？	氏家理恵
	第2回	『旧約聖書』と『新約聖書』の関係は？	氏家理恵
	第3回	イギリス文学とイギリス宗教改革—文学への影響	氏家理恵
	第4回	キリスト教と歳時 1—ハロウィン：『ハロウィン・パーティ』	氏家理恵
	第5回	キリスト教と歳時 2—ガイ・フォークス・ナイト	氏家理恵
	第6回	イギリス文学とピューリタン革命：ジョン・ミルトン『失樂園』他	氏家理恵
	第7回	アメリカ文学とキリスト教：ナサニエル・ホーソーン『緋文字』	氏家理恵
	第8回	キリスト教と歳時 2：クリスマス	氏家理恵
	第9回	新約聖書 1 イエスの誕生：「きよしこの夜」	氏家理恵
	第10回	新約聖書 2 クリスマス物語：チャールズ・ディケンズ『クリスマス・キャロル』	氏家理恵
	第11回	新約聖書 3 イエスのたとえ話と奇跡：『情事の終わり』	氏家理恵
	第12回	新約聖書 4 12弟子と最後の晩餐：ウィリアム・フォークナー『寓話』	氏家理恵
	第13回	新約聖書 5 イエスの死と復活：イースターと「ホット・クロス・バンズ」	氏家理恵
	第14回	新約聖書 6 ヨハネの黙示録：黙示録文学と『オーメン』	氏家理恵
	第15回	まとめ	氏家理恵

授業外の学習	聖書関連資料・文学作品例は随時プリントを配布する。 また、テーマごとに、関連する聖書の記述部分と文学作品からの引用文の予習を課す。 文学作品および『聖書』からの引用プリントは必ず読み、わからない単語・用語は調べておくこと。また、その文学作品と『聖書』の物語やキリスト教的な考え方との関りを推測しておくこと。 授業外の学習に必要な時間は1回の授業につき平均4時間となる。		
教科書	なし。授業内でプリントを配布する。		
参考文献など	『聖書』（新共同訳）日本聖書協会		
成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	30	期末テスト
	実技評価	0	課さない
	レポート評価	0	課さない
	平常点評価	50	授業参加度・ミニツツノート・小テスト
その他	20	予習課題	
履修上の注意	『聖書』や文学作品からの引用プリントの予習は必ずすること。 授業には辞書を持参すること。 英米文学についての概論的・歴史的な知識を修得していることが望ましい。		
連絡先・連絡方法など	E-mail address : r_ujii@seigakuin-univ.ac.jp		
その他	英米文学の概論的・歴史的な知識のある意欲的な学生を求める。		

英語の歴史A

担当教員	小池 剛史
曜日・時限・開講期	木曜日 4時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	英語の歴史的発達を扱います。古英語（7～11世紀）、中英語（12～15世紀）、現代英語（16世紀～現代）の文法（音韻・形態・統語論など）を学び、それぞれの時代に書かれた作品からの抜粋を少しだけでも読んで、かつての英語がどれほど現代とは違っていたかを味わいたいと思います。また概して言語というもののはどのように変化するのか、言語変化と文化背景とはどう関わっているのか、といった問題も考えていきたいと思っています。
授業の到達目標	英語史上の様々な専門用語を用いることが出来るようになること。
授業の形態	基本的には小池による講義が中心です。履修者人数によっては、グループによる発表も行います。

	回数	授業内容	担当教員
	授業 計画	第1回	言語変化についての一般論
第2回		現代英語の特徴	小池剛史
第3回		古英語以前：印欧祖語からゲルマン語へ	小池剛史
第4回		古英語以前：ゲルマン語から英語へ	小池剛史
第5回		ケルト人とケルト語	小池剛史
第6回		アングロサクソン人のブリテン島侵入	小池剛史
第7回		古英語の文字、発音	小池剛史
第8回		古英語：古英語の名詞・文法性・古英語の文法	小池剛史
第9回		古英語：キリスト教の伝来：ラテン語からの借用語	小池剛史
第10回		古英語：デン人の侵入、スカンジナビア語の影響	小池剛史
第11回		古英語の語彙：派生語、ケニング	小池剛史
第12回		古英語：ノルマン征服	小池剛史
第13回		中英語：ノルマン征服の影響；フランス語系の語彙（1）	小池剛史
第14回		中英語：ノルマン征服の影響；フランス語系の語彙（2）	小池剛史
第15回		中英語：プロローグ	小池剛史

授業外の学習	授業内容に該当する教科書の箇所はあらかじめ読んで来て下さい。 授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間。
--------	--

教科書	菊池清明 他（2009）『英語史：現代英語の特質を求めて—多文化性と国際性—』 関西人文科学研究会
-----	---

参考文献など	寺澤盾（2008）『英語の歴史』中公新書、 The Cambridge Encyclopedia of the English language. (by David Crystal)、 The shape of English. (by Roger Lass)その他随時プリントとして配布します。
--------	---

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	50	授業内容の理解
実技評価	0	なし	
レポート評価	40	語源辞典やその他英語史関連の文献を用い、大学のレポートとしての体裁を整えたもの	
平常点評価	10	授業内でのディスカッションへの参加など	
その他	0	なし	

履修上の注意	病気等、やむを得ない場合を除き、無断欠席をしないこと。無断で4回以上欠席した場合には、いかなる場合であっても評価の対象外とします。
--------	---

連絡先・連絡方法など	bachgenjapaneg@gmail.com
------------	--------------------------

その他	ありません。
-----	--------

英語の歴史B

担当教員	小池 剛史
曜日・時限・開講期	木曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	英語の歴史的発達を扱います。古英語（7～11世紀）、中英語（12～15世紀）、現代英語（16世紀～現代）の文法（音韻・形態・統語論など）を学び、それぞれの時代に書かれた作品からの抜粋を少しだけでも読んで、かつての英語がどれほど現代とは違っていたかを味わいたいと思います。また概して言語というもののはどのように変化するのか、言語変化と文化背景とはどう関わっているのか、といった問題も考えていきたいと思っています。
授業の到達目標	英語史上の様々な専門用語を用いることが出来るようになること
授業の形態	基本的には小池による講義が中心です。しかしもし履修者数によってグループ発表が可能であれば、グループ発表も行います

	回数	授業内容	担当教員
	授業 計画	第1回	中英語：ノルマン征服、公用語となったフランス語
第2回		中英語：格、文法、総合的言語と分析的言語	小池剛史
第3回		中英語：中英語期の文学、チャウサー	小池剛史
第4回		中英語：諸方言、標準英語の発達	小池剛史
第5回		中英語：英語の公用語としての地位復活	小池剛史
第6回		近代英語：印刷技術の導入、書き言葉の標準の発達	小池剛史
第7回		近代英語：語彙、ラテン語系・ギリシア語の語彙	小池剛史
第8回		近代英語：語彙、ラテン語系・ギリシア語の語彙、インク壺用語	小池剛史
第9回		近代英語：大母音推移	小池剛史
第10回		近代英語：綴り字の標準化、Richard Mulcasterの功績	小池剛史
第11回		近代英語：文法の標準化、Robert Lowthの文法書	小池剛史
第12回		近代英語：辞書の編纂、Samuel Johnsonの『英語辞典』	小池剛史
第13回		近代英語：アメリカ英語の発達：アメリカ英語の保守性	小池剛史
第14回		近代英語：アメリカ英語の発達：Noah Websterの辞書	小池剛史
第15回		現代英語：英語圏の広がり	小池剛史

授業外の学習	授業内容に該当する教科書の箇所はあらかじめ読んで来て下さい。 授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間。
--------	--

教科書	菊池清明 他（2009）『英語史：現代英語の特質を求めて—多文化性と国際性—』 関西人文科学研究会
-----	---

参考文献など	寺澤盾（2008）『英語の歴史』中公新書、The Cambridge encyclopedia of the English language. (by David Crystal) The shape of English. (by Roger Lass)その他随時プリントとして配布します。
--------	---

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	50	授業内容
実技評価	0	なし	
レポート評価	40	語源辞典やその他英語史関連の文献を利用し、大学のレポートとしての体裁を整えたもの	
平常点評価	10	授業でのディスカッションへの参加など	
その他	0	なし	

履修上の注意	病気等、やむを得ない場合を除き、無断欠席をしないこと。無断で4回以上欠席した場合には、いかなる場合であっても評価の対象外とします。
--------	---

連絡先・連絡方法など	bachgenjapaneg@gmail.com
------------	--------------------------

その他	ありません。
-----	--------

ウェールズの文化とことば A

担当教員	小池 剛史
曜日・時限・開講期	木曜日 5 時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	3 年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	英国を構成する 4 つの国の一つであるウェールズの文化、そしてウェールズで話されているケルト語である、ウェールズ語を紹介します。ウェールズ文化の代名詞でもあるラグビーだけでなく、国旗の話、国家の成立、葱の食文化といった、あまり日本では知られていないウェールズ文化を、その歴史的背景も含めてお話しします。また、ウェールズ文化の中心であるウェールズ語を学び、簡単な会話がウェールズ語で話せるようになります。
授業の到達目標	1) ウェールズの文化（特に音楽、食、スポーツ）に触れ、その歴史を理解すること、そして 2) 簡単なウェールズ語をマスターすることである。2) については、文字と発音の規則を理解し、ウェールズ語の単語を見て発音できるようになることと、BOD 構文（テキストの第 1 課～第 5 課の範囲）を理解し、「私はパンを食べます」「彼はビールを飲みます」などの表現が言えるようになることを目指します。
授業の形態	ウェールズ文化については小池による講義形式で行います。ウェールズ語についての授業は、小池による簡単な説明の後、学生同士で会話練習を行ったり作文をしたりします。

	回数	授業内容	担当教員
	授業計画	第 1 回	ウェールズってどんな国？ウェールズ／カムリ概説
第 2 回		ウェールズの国旗、竜の話；国歌	小池剛史
第 3 回		ウェールズ語の文字と発音	小池剛史
第 4 回		ウェールズ語の挨拶「お早う！」 Bore da!	小池剛史
第 5 回		ウェールズ語の基本構文（1）「私は毎日パンを食べます」 Rydw i'n bwyta bara bob dydd. 「あなたは毎日パンを食べますか？」 Ydych chi'n bwyta bara bob dydd?	小池剛史
第 6 回		ウェールズの歴史（1）ウェールズ人はどこから来た	小池剛史
第 7 回		ウェールズ語の基本構文（2）「私は毎日パンを食べません」 Dydw i ddim yn bwyta bara bob dydd.	小池剛史
第 8 回		ウェールズの歴史（2）アングロサクソン人とウェールズ人	小池剛史
第 9 回		ウェールズ語の基本構文（3）「ダヴィッズは毎日パンを食べます」 Mae Dafydd yn bwyta bara bob dydd. 「フリアンは金曜日に魚を食べません」 Dydy Rhian ddim yn bwyta pysgod ar ddydd Gwener.	小池剛史
第 10 回		ウェールズの文化（1）ウェールズの国歌	小池剛史
第 11 回		ウェールズ語の基本構文（4）「私の両親はパン屋を経営しています」 Mae fy rhieni yn rhedeg popty. 「あなたの両親はパン焼いていますか？はい」 Ydy eich rhieni yn pobi bara? Ydyn. .	小池剛史
第 12 回		ウェールズの文化（2）ウェールズの食べ物と言えば…？ネギ、子羊の肉、バラ・プリス、ピッケ、等々	小池剛史
第 13 回		ウェールズ語の基本構文（5）ここまでの復習	小池剛史
第 14 回		ウェールズの歴史（3）ウェールズ独自の法律「ハウェル善王の法典」	小池剛史
第 15 回		前期まとめ	小池剛史

授業外の学習	毎回の授業で予習を課します。予習箇所を必ず読んでから授業に臨むこと。また、ウェールズ語については教科書の各課の終わりにある練習問題を使って何度も会話練習を行うこと。授業外の学習に必要な時間は 1 回の講義に対して 4 時間。		
教科書	『ウェールズ語の基本』（永田喜文、小池剛史 著；三修社）；このほか、適宜参考資料を配布します。		
参考文献など	永田喜文（著）『ケルトを旅する 52 章—イギリス・アイルランド—（エリアスタディーズ 94）』明石書店（2012） 吉賀憲夫（編）『ウェールズを知るための 60 章（エリアスタディーズ 175）』明石書店（2019） ジャネット・デイヴィス（著）小池剛史（訳）『ウェールズ語の歴史』春風社（2018）		
成績評価の方法・基準	評価方法	割合 (%)	評価基準
	筆記試験	50	ウェールズ語の作文が中心です。
	実技評価	20	授業内で個々とウェールズ語で会話をします。
	レポート評価	20	ウェールズ文化に関する文献を使用し、大学のレポートとしての体裁を整えたもの。
	平常点評価	10	授業内でのウェールズ語活動への参加など
その他	0	なし	
履修上の注意	学内の授業だけでなく、学外で行われているウェールズ関連のイベントや学会にも参加します。		
連絡先・連絡方法など	メールアドレス：bachgenjapaneg@gmail.com		
その他	ウェールズ語を楽しく話しましょう。		

ウェールズの文化とことば B

担当教員	小池 剛史
曜日・時限・開講期	木曜日 5時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	英国を構成する4つの国の一つであるウェールズの文化、そしてウェールズで話されているケルト語、ウェールズ語を紹介し、文化・歴史については、カムリの敗北の歴史、カムリ独自の文化を守った人々、カムリの伝統文化の一つ、詩の伝統、ハーブ音楽、そしてカムリ語の復興運動、ウェールズのスポーツ、ラグビーなどを紹介します。カムリ語については、天候を表す表現、時間を表す表現、場所を表す表現、所有を表す表現などを学び、自分自身についてある程度話ができるようにします。
授業の到達目標	1) ウェールズの文化と歴史に触れ、理解すること、そして2) 簡単なウェールズ語をマスターすることである。2) については、「ウェールズの文化とことばA」で学習した内容（教科書の第1課～第5課の内容）を踏まえ、天候、時間、場所の説明、さらに自己紹介などがウェールズ語で出来るようになることを目指します。
授業の形態	ウェールズ文化については小池による講義形式で行います。ウェールズ語についての授業は、小池による簡単な説明の後、学生同士で会話練習を行ったり作文をしたりします。

	回数	授業内容	担当教員
	第1回	ウェールズ語の基本（前期の学習事項の復習）	小池剛史
第2回	ウェールズ語：「今日アベラストウィスでは晴れています」 Mae hi'n braf yn Aberystwyth. 「今日サンゴセンでは雨が降っています」 Mae hi'n bwrw glaw yn Llangollen.	小池剛史	
第3回	ウェールズの歴史（1）：最後のウェールズ大公セウエリン；イングランドによるウェールズ征服	小池剛史	
第4回	ウェールズ語：「今何時ですか？」「今午後3時です」 Faint o'r gloch yw hi nawr? Mae hi'n dri o'r gloch nawr.	小池剛史	
第5回	ウェールズの歴史（2）「カムリ大公」を名乗った男、オワイン・グリンドウール	小池剛史	
第6回	ウェールズ語：「あなたは今どこにいますか？」「私は今本屋の前にはいます」 Ble rydych chi nawr? Rydw i o flaen y siop lyfrau.	小池剛史	
第7回	ウェールズの文化（1）ウェールズの伝説物語「マビノギオン」	小池剛史	
第8回	ウェールズ語：「私は今カムリ（ウェールズ）にいます」 Rydw i yn Nghymru nawr.	小池剛史	
第9回	ウェールズの文化（2）ウェールズの詩の伝統、ウェールズの文化の祭典「アイステズヴォッド」	小池剛史	
第10回	ウェールズ語：「この町には良い本屋がありますか」 Oes siop lyfrau dda yn y dre 'ma?	小池剛史	
第11回	ウェールズの文化（3）ウェールズの楽器、ハーブとケルズ・ダント	小池剛史	
第12回	ウェールズ語：「あなたは辞書を持っていますか？ Oes geiriadur 'da chi?	小池剛史	
第13回	ウェールズの歴史（3）炭鉱とラグビー	小池剛史	
第14回	ウェールズ語：後期のまとめ	小池剛史	
第15回	ウェールズの歴史：（4）ウェールズ語の復興運動	小池剛史	

授業外の学習	毎回の授業で予習を課します。予習箇所を必ず読んでから授業に臨むこと。また、ウェールズ語については教科書の各課の終わりにある練習問題を使って何度も会話練習を行うこと。授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間。
--------	--

教科書	『ウェールズ語の基本』（永田喜文、小池剛史 著；三修社）；このほか、適宜参考資料を配布します。
-----	---

参考文献など	永田喜文（著）『ケルトを旅する52章—イギリス・アイルランド—（エリアスタディーズ 94）』明石書店（2012） 吉賀憲夫（編）『ウェールズを知るための60章（エリアスタディーズ 175）』明石書店（2019） ジャネット・デイヴィス（著）小池剛史（訳）『ウェールズ語の歴史』春風社（2018）
--------	---

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	50	ウェールズ語の作文が中心です。
実技評価	20	授業内に小池と個別にウェールズ語会話をします。	
レポート評価	20	ウェールズ文化に関する文献を使用し、大学のレポートとしての体裁を整えたもの。	
平常点評価	10	授業内でのウェールズ語活動への参加など	
その他	0	なし	

履修上の注意	ウェールズ語をある程度マスターするために、毎日の授業で宿題を課します。
連絡先・連絡方法など	メールアドレス：bachgenjapaneg@gmail.com
その他	ウェールズ語を楽しく話しましょう。

ドイツ語初級 1 A

担当教員	シュミット データ
曜日・時限・開講期	木曜日 5時限 前期
期間	前期
授業形態	演習
学年	1年生
単位	1
開講キャンパス	板橋

授業の概要	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4 技能 (聞く・読む・話す・書く) の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法 (入門レベル) の修得を目指す。
授業の到達目標	教科書に基づいて基本的な文法、会話、聞き取り、読み書きの能力及び文法を身に着ける。
授業の形態	発音練習、パートナーで日常的コミュニケーションの練習

	回数	授業内容	担当教員
授業計画	第1回	第1課 テーマ:挨拶 目標:人と挨拶ができる 出身地・居住地を尋ね、答えることができる 文法:1人称 (ich) と2人称 (Sie と du) の動詞の人称変化	シュミットデータ
	第2回	第1課 テーマ:挨拶 目標:人と挨拶ができる 出身地・居住地を尋ね、答えることができる 文法:1人称 (ich) と2人称 (Sie と du) の動詞の人称変化	シュミットデータ
	第3回	第1課 テーマ:挨拶 目標:人と挨拶ができる 出身地・居住地を尋ね、答えることができる 文法:1人称 (ich) と2人称 (Sie と du) の動詞の人称変化	シュミットデータ
	第4回	第2課 テーマ:人に対して 目標:専攻や職業・国籍が言える 文法:現在人称変化 (er, sie の3人称単数)	シュミットデータ
	第5回	第2課 テーマ:人に対して 目標:専攻や職業・国籍が言える 文法:現在人称変化 (er, sie の3人称単数)	シュミットデータ
	第6回	第2課 テーマ:人に対して 目標:専攻や職業・国籍が言える 文法:現在人称変化 (er, sie の3人称単数)	シュミットデータ
	第7回	第3課 テーマ:私の物 目標:持ち物について説明できる 数を100まで数えられる 文法:名詞の性 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の1格 代名詞 複数形 数詞	シュミットデータ
	第8回	第3課 テーマ:私の物 目標:持ち物について説明できる 数を100まで数えられる 文法:名詞の性 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の1格 代名詞 複数形 数詞	シュミットデータ
	第9回	第3課 テーマ:私の物 目標:持ち物について説明できる 数を100まで数えられる 文法:名詞の性 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の1格 代名詞 複数形 数詞	シュミットデータ
	第10回	第4課 テーマ:食べる、飲む 目標:レストランで注文ができる 文法:不定冠詞・否定冠詞の4格	シュミットデータ
	第11回	第4課 テーマ:食べる、飲む 目標:レストランで注文ができる 文法:不定冠詞・否定冠詞の4格	シュミットデータ
	第12回	第4課 テーマ:食べる、飲む 目標:レストランで注文ができる 文法:不定冠詞・否定冠詞の4格	シュミットデータ
	第13回	第5課 テーマ:私の家族 目標:家族を紹介できる 家族について話すことができる 文法:所有冠詞と人称代名詞の1格・4格	シュミットデータ
	第14回	第5課 テーマ:私の家族 目標:家族を紹介できる 家族について話すことができる 文法:所有冠詞と人称代名詞の1格・4格	シュミットデータ
	第15回	Final-Exam, Assessment of student achievement of learning	シュミットデータ

授業外の学習	授業で学んだ新しい語彙・文法を家で週に約1時間復習すること。
--------	--------------------------------

教科書	ゲナウ neu! コミュニケーションのドイツ語 第三書房 ISBN 978-4-8086-1190-3, 2500¥+税
-----	--

参考文献など	ゲナウ neu! Grammatik 第三書房 ISBN 978-4-8086-1046-3 (買わなくてよいです。)
--------	---

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	90	Final-テストにより評価します。
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	0	特になし
	平常点評価	10	授業の参加
その他	0	特になし	

履修上の注意	特になし
--------	------

連絡先・連絡方法など	授業の前後に相談可
------------	-----------

その他	特になし
-----	------

ドイツ語初級 1 B

担当教員	シュミット データ
曜日・時限・開講期	木曜日 5時限 後期
期間	後期
授業形態	演習
学年	1年生
単位	1
開講キャンパス	板橋

授業の概要	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。
授業の到達目標	教科書に基づいて基本的な文法、会話、聞き取り、読み書きの能力及び文法を身につける。
授業の形態	発音練習、パートナーで日常的コミュニケーションの練習

	回数	授業内容	担当教員
授業 計画	第1回	第6課 テーマ:私の趣味 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:不規則変化動詞の現在形 命令形 目標:自分の趣味や	シュミットデータ
	第2回	第6課 テーマ:私の趣味 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:不規則変化動詞の現在形 命令形 目標:自分の趣味や余暇活動	シュミットデータ
	第3回	第6課 テーマ:私の趣味 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:不規則変化動詞の現在形 命令形 目標:自分の趣味や	シュミットデータ
	第4回	第7課 テーマ:休暇 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:話法の助動詞 目標:休暇の予定が	シュミットデータ
	第5回	第7課 テーマ:休暇 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:話法の助動詞 目標:休暇の予定が	シュミットデータ
	第6回	第7課 テーマ:休暇 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:話法の助動詞 目標:休暇の予定が	シュミットデータ
	第7回	第8課 テーマ:洋服、プレゼント 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:3格3、格支配の前置詞、3格の人称 代名詞 目標:贈り物をする 洋服	シュミットデータ
	第8回	第8課 テーマ:洋服、プレゼント 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:3格3、格支配の前置詞、3格の人称 代名詞 目標:贈り物をする 洋服	シュミットデータ
	第9回	第8課 テーマ:洋服、プレゼント 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:3格3、格支配の前置詞、3格の人称 代名詞 目標:贈り物をする 洋服	シュミットデータ
	第10回	第9課 テーマ:町、住まい 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:3・4格支配の前置詞 目標:場所、位置が	シュミットデータ
	第11回	第9課 テーマ:町、住まい 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:3・4格支配の前置詞 目標:場所、位置が	シュミットデータ
	第12回	第9課 テーマ:町、住まい 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:3・4格支配の前置詞 目標:場所、位置が	シュミットデータ
	第13回	第10課 テーマ:私の一日 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:分離動詞、zu不定詞、再帰代名詞 目標:自分の一日の行	シュミットデータ
	第14回	第10課 テーマ:私の一日 余暇活動が表現できる 人に何かに誘える 文法:分離動詞、zu不定詞、再帰代名詞 目標:自分の一日の行	シュミットデータ
	第15回	Final-Exam, Assessment of student achievement of learning	シュミットデータ

授業外の学習	授業で学んだ新しい語彙・文法を家で週に約1時間復習すること。		
教科書	ゲナウ neu! コミュニケーションのドイツ語 第三書房 ISBN 978-4-8086-1190-3, 2500¥+税		
参考文献など	ゲナウ neu! Grammatik 第三書房 ISBN 978-4-8086-1046-3 (買わなくてよいです。)		
成績評 価の方 法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	90	Final-テストにより評価します。
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	0	特になし
	平常点評価	10	授業の参加
その他	0	特になし	
履修上の注意	特になし		
連絡先・連絡方法など	授業の前後に相談可		
その他	特になし		

文学と精神分析 A

担当教員	生駒 久美
曜日・時限・開講期	金曜日 4 時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	3 年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	この授業では映画を利用しながら、オーストリアの精神分析学者、ジークムント・フロイトの精神分析の基本的な知見を学び、何が「正常」で何が「異常」なのか、何が「健康」で、何が「病気」かを問い直していきます。 具体的には想田和弘の「精神」やイタリアの映画監督パゾリーニの「アポロンの地獄」といった映画を鑑賞しながら精神分析を学び、わたしたちがこれまで「あたり前だ」と思っていたことを考え直す機会を探ります。
授業の到達目標	フロイトの知見を学び、それらを知ることによって人間のこころやセクシュアリティ、成長、夢、ことば、文化、戦争、芸術について理解を深めます。 (1)自分の言葉でフロイト精神分析を説明できるようになり、(2)自分自身の「あたり前」を問い直すことを目指します。
授業の形態	精神分析の視点から、文学作品および映画の解釈を深めていきます。 基本的には講義となりますが、映画を鑑賞した後はグループ・ディスカッションをし、映画に対する理解を広げ、深めます。 授業の最終週は、試験対策の時間を取ります。

	回数	授業内容	担当教員
授業計画	第1回	イントロダクション：授業の説明および自己紹介、自己紹介文の作成	生駒久美
	第2回	ジークムント・フロイトとは誰か？	生駒久美
	第3回	想田和弘「精神」（映画・前半）	生駒久美
	第4回	想田和弘「精神」（映画・後半）	生駒久美
	第5回	「精神」をグループディスカッション	生駒久美
	第6回	狂気と正気のあいだ： 木村敏と想田和弘から考える	生駒久美
	第7回	無意識とは何か？： 日常生活における間違いと無意識を考える	生駒久美
	第8回	夢とは何か？： 夢のメカニズムを探る	生駒久美
	第9回	こころの病の治療法： 抑圧、抵抗、転移	生駒久美
	第10回	オイディプス・コンプレックスとは何か？ 性的外傷説から幼児性欲説へ	生駒久美
	第11回	ピエル・パオロ・パゾリーニ「アポロンの地獄」（映画）	生駒久美
	第12回	映画のグループ・ディスカッション	生駒久美
	第13回	欲動論①： 口唇期、肛門期、男根期	生駒久美
	第14回	欲動論②： 反復強迫、生の欲動と死の欲動	生駒久美
	第15回	まとめ	生駒久美

授業外の学習	授業内容をしっかり復習し、映画分析の際は授業内容を踏まえたレスポンス・ペーパーを作成できるようにすること。 授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間。		
教科書	特になし		
参考文献など	必要に応じて紹介します。		
成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	60	選択および記述問題 (履修者の人数が少なければ、筆記試験でなく、レポートにするかもしれません。)
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	0	特になし
	平常点評価	20	映画を鑑賞後のレスポンスペーパー、および授業への貢献度を評価します。
その他	20	授業参加点：持ち点を20点とし、遅刻するたびにマイナス2点、欠席するとマイナス4点減点します。欠席5回で単位を認めません。	
履修上の注意	指定された箇所の予習を必ずしてきてください。		
連絡先・連絡方法など	授業開始時に伝えます。		
その他	積極的な授業参加を評価します。		

文学と精神分析 B

担当教員	生駒 久美
曜日・時限・開講期	金曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	この授業では小説や映画を利用しながら、フロイト及びラカンの精神分析（およびそれに関わる批評）の基本的な知見を学び、自分自身のセクシュアリティや意識（自分の考え・感情だと思っていること）を問い直していきます。 後期フロイトの精神分析およびラカンの基本的な概念を学び、そうした知識を踏まえた上で映画（アンジェラ・カーターの「オオカミの血族」）や小説（ヘンリー・ジェームズの「ねじの回転」）を分析していきます。
授業の到達目標	これまで「あたり前だ」と思ったことを精神分析の視点から問い直していきます。 具体的には、後期フロイト及びラカンの知見を学び、それらを知ることによって人間のこころやセクシュアリティ、文化、戦争、芸術、そしてことばについて理解を深め、自分の言葉でフロイトおよびラカンの精神分析を説明できるようになることを目指します。 後期は禁圧されたセクシュアリティ、さらにことばと意識の構造の類似性に焦点を当てていきます。
授業の形態	精神分析の視点から、文学作品および映画の解釈を深めていきます。基本的には講義となりますが、映画を鑑賞した後はグループ・ディスカッションをし、映画に対する理解を広げ、深めます。授業の最終週は、試験対策の時間を取ります。

	回数	授業内容	担当教員
授業計画	第1回	こころの構造： 自我、超自我、エス	生駒久美
	第2回	おどき話とフロイト 「あかずきんちゃん」と「ジャックとまめの木」	生駒久美
	第3回	女性のセクシュアリティとフロイト： アンジェラ・カーターの「狼の血族」（映画）鑑賞	生駒久美
	第4回	女性のセクシュアリティとフロイト： 映画のグループ・ディスカッション	生駒久美
	第5回	「無意識は言語のように構造化されている」： ソシュールの言語理論およびラカンの鏡像段階理論	生駒久美
	第6回	ヘンリー・ジェームズの「ねじの回転」をじっくり読む 序章から5章	生駒久美
	第7回	ヘンリー・ジェームズの「ねじの回転」をじっくり読む 6章から10章	生駒久美
	第8回	ヘンリー・ジェームズの「ねじの回転」をじっくり読む 11章から15章	生駒久美
	第9回	ヘンリー・ジェームズの「ねじの回転」をじっくり読む 16章から20章	生駒久美
	第10回	ヘンリー・ジェームズの「ねじの回転」をじっくり読む 20章から最終章	生駒久美
	第11回	「ねじの回転」（映画）を鑑賞	生駒久美
	第12回	「ねじの回転」（映画）のグループ・ディスカッション	生駒久美
	第13回	フロイト派の「ねじの回転」論： エドモンド・ウィルソンの解釈	生駒久美
	第14回	ラカン派の「ねじの回転」論： ショシャナ・フェルマンの解釈およびクィア批評の可能性	生駒久美
	第15回	まとめ	生駒久美

授業外の学習	指定したテキストを授業前に読んでくることを前提とします。 授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間。		
教科書	木谷巖編『文学理論をひらく』（北樹出版） ヘンリー・ジェームズ『ねじの回転 デイジー・ミラー』（岩波文庫）		
参考文献など	必要に応じて紹介します。		
成績評価の方法・基準	評価方法	割合 (%)	評価基準
	筆記試験	60	選択問題・記述問題 (受講生が少ない場合、筆記試験でなく、レポートに変更するかもしれません。)
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	0	特になし
	平常点評価	20	グループ・ディスカッションを踏まえた映画のレスポンス・ペーパーを評価します。
その他	20	授業参加点：持ち点を20点とし、遅刻するとマイナス2点、欠席するとマイナス4点とします。欠席5回で単位を認めません。	
履修上の注意	指定された箇所の予習を必ずしてきてください。		
連絡先・連絡方法など	授業開始時に伝えます。		
その他	積極的な授業参加を評価します。		

財政・公共経済特論（地方財政A）

担当教員	菅野 早紀
曜日・時限・開講期	火曜日 2時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	本講義では、地方公共団体の財政活動について学びます。都道府県や市町村といった各地方公共団体レベルでお金がどのように動いているのかを見てみましょう。地方財政Aでは地方財政の構造と地方公共団体の歳入について学びます。
授業の到達目標	地方財政は刻々と変化をしており、様々な問題があります。本講義では、地方財政について学び、現代の地方財政をめぐる問題について論じられる基礎知識を身につけることを目標とします。
授業の形態	講義形式で行います。穴埋め式のレジュメを事前にウェブ上で配布しますので各自印刷して持ってきてください。随時、公務員試験に似た演習問題も取り入れ、知識の定着を図ります。

	回数	授業内容	担当教員
	授業 計画	第1回	ガイダンスとイントロダクション：地方財政とは何か
第2回		地方自治体の概念	菅野早紀
第3回		地方財政の機能	菅野早紀
第4回		地方財政の構造：歳入と歳出	菅野早紀
第5回		租税原則	菅野早紀
第6回		中間試験	菅野早紀
第7回		地方税（1）住民税	菅野早紀
第8回		地方税（2）法人二税	菅野早紀
第9回		地方税（3）固定資産税	菅野早紀
第10回		地方税（4）地方消費税	菅野早紀
第11回		地方税（5）その他の税、ふるさと納税	菅野早紀
第12回		地方交付税	菅野早紀
第13回		国庫支出金・地方債	菅野早紀
第14回		地方分権と三位一体改革	菅野早紀
第15回		期末試験	菅野早紀

授業外の学習	授業計画で示されたテーマについて、事前に参考書①または参考書②を読んでおいてください。授業を受けた後は、再度レジュメと参考書を読み直して、不明な点があれば質問してください。授業外の学習に必要な時間は、1回の講義に対して4時間です。
--------	---

教科書	特になし
-----	------

参考文献など	①水谷守男、菊池裕子、宮野俊明、菊池裕幸（著）『地方財政を学ぶ』勁草書房、2017年、2500円＋税 ※同じタイトルの本がありますので、注意してください。 ②持田信樹（著）『地方財政論』東京大学出版会、2013年、2800円＋税
--------	--

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	100	中間試験（40%）＋期末試験（60%）
実技評価	0	特になし	
レポート評価	0	特になし	
平常点評価	0	特になし	
その他	0	特になし	

履修上の注意	受講前に「財政」の講義を履修済みであることが望ましいです。
--------	-------------------------------

連絡先・連絡方法など	学部事務室へ伝言
------------	----------

その他	なし
-----	----

財政・公共経済特論（地方財政B）

担当教員	菅野 早紀
曜日・時限・開講期	火曜日 2時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	本講義では、地方自治体の財政活動について学びます。都道府県や市町村といった各地方自治体レベルでお金がどのように動いているのかを見てみましょう。地方財政Bでは地方自治体ならではの地域に根ざした公共サービスへの支出を学びます。
授業の到達目標	地方財政は刻々と変化をしており、様々な問題があります。本講義では、地方財政について学び、現代の地方財政をめぐる問題について論じられる基礎知識を身につけることを目標とします。
授業の形態	講義形式で行います。事前に穴埋め式のレジュメをウェブ上にアップロードしますので、各自印刷して持参してください。随時、演習問題も取り入れ、知識の定着を図ります。人数により、グループ作業や発表を取り入れま

	回数	授業内容	担当教員
	授業 計画	第1回	ガイダンスとイントロダクション：地方財政とは何か
第2回		公共財・公共サービスとは	菅野早紀
第3回		地方公共サービスの特徴	菅野早紀
第4回		地域の国土保全と開発	菅野早紀
第5回		教育制度	菅野早紀
第6回		社会保険（1）社会保険とは	菅野早紀
第7回		社会保険（2）医療保険制度－国民健康保険を中心に	菅野早紀
第8回		社会保険（3）介護保険制度	菅野早紀
第9回		生活保護制度	菅野早紀
第10回		子育て支援制度	菅野早紀
第11回		消防・警察	菅野早紀
第12回		身近な地方公共サービスを調べよう（1）	菅野早紀
第13回		身近な地方公共サービスを調べよう（2）	菅野早紀
第14回		身近な地方公共サービスを調べよう（3）	菅野早紀
第15回		期末試験	菅野早紀

授業外の学習	授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間です。 事前に授業計画の該当テーマについて、調べてきてください。 授業後は、レジュメを読み返し、わからないところがあれば質問してください。 人数によりグループ作業・発表を行いますので、積極的な受講態度を求めます。
--------	--

教科書	特になし
-----	------

参考文献など	①水谷守男、菊池裕子、宮野俊明、菊池裕幸（著）『地方財政を学ぶ』勁草書房、2017年、2500円＋税 ※同じタイトルの本がありますので、注意してください。 ②持田信樹（著）『地方財政論』東京大学出版会、2013年、2800円＋税 ③小塩隆士（著）『社会保障の経済学』日本評論社、2013年、3300円＋税
--------	---

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	70	期末試験
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	0	特になし
	平常点評価	30	発表等授業への参加度（受講者数による）
その他	0	特になし	

履修上の注意	事前に「財政」「地方財政A」の講義を履修していることが望ましい。
--------	----------------------------------

連絡先・連絡方法など	学部事務室へ伝言
------------	----------

その他	なし
-----	----

現代社会の諸問題（生協社会論）

担当教員	中村 年春
曜日・時限・開講期	水曜日 4 時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	3 年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	いま政府や企業の政策は、2015年国連サミットで採択された国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に向かっていきます。社会人として知っておくべきSDGsを、生活協同組合を中心とした協同組合が取り組む事業・社会活動の実例を通してわかりやすく解説します。そのうえで、現代社会が抱える諸問題にひとつひとつ向かい合い、理解を広め、激変する社会環境の中にあっても、私たちが活力をもって生きていくために、本当に大切なことは何か、を考えます。
授業の到達目標	学生たちが自らの選択と行動が現在および将来の世代にわたって倫理、社会、経済、環境に影響を及ぼすことを自覚し、公正で持続可能な社会の形成と改善に主体的・能動的に参画する消費者市民として成長することを目標とします。
授業の形態	パワーポイントを用いた説明、DVDによる生活協同組合および生協活動の紹介、その他資料の配布およびレジュメを用いて授業を展開します。

	回数	授業内容	担当教員
授業計画	第1回	はじめに グローバル化する社会と協同を考える 日本生活協同組合連合会渉外広報本部	執行役員・本部長伊藤治郎／中村年春
	第2回	変わる大学生生活を考える 全国大学生生活協同組合連合会	専務理事毎田伸一／中村年春
	第3回	学生生活を取り巻くリスクを考える 全国大学生協共済生活協同組合連合会	専務理事寺尾善喜／中村年春
	第4回	多様な人々が共生できる社会の形成を考える 日本生活協同組合連合会管理本部	久保典子／中村年春
	第5回	健康づくりを考える 日本医療福祉生活協同組合連合会渉外・広報部	江本淳／中村年春
	第6回	子育て支援を考える 生花クラブ生活協同組合	若松恵子／中村年春
	第7回	食の安全・安心を考える 日本生活協同組合連合会品質保証本部	早川敏幸／中村年春
	第8回	平和を考える 日本生活協同組合連合会組織推進本部	福島加南子／中村年春
	第9回	誰もが安心して暮らせる地域社会を考える 日本生活協同組合連合会組織推進本部	前田昌宏／中村年春
	第10回	消費者力を高める 特定非営利活動法人消費者機構日本	専務理事磯部浩一／中村年春
	第11回	地球環境問題に取り組む 日本生活協同組合連合会組織推進本部	新良貴泰夫／中村年春
	第12回	貧困の連鎖を防止する 日本生活協同組合連合会組織推進本部	伴資之／中村年春
	第13回	生協の現在と未来を考える 日本生活協同組合連合会副会長	新井ちとせ／中村年春
	第14回	誰一人取り残さない社会の実現を目指して	中村年春
	第15回	まとめ 生協がつくる新しい社会	中村年春

授業外の学習	事前に配布する授業計画書により、各自が生協活動に関する情報を入手しておいてください。授業参加にあたって、講義テーマについて4時間程度の事前学習をしておくこと。
--------	---

教科書	使用せず、毎回レジュメまたは資料を配布します。
-----	-------------------------

参考文献など	中川雄一郎／JC総研編『協同組合は「未来の創造者」になれるか』一般社団法人家の光協会（2014年5月）、生協総合研究所編『現代社会と生協』コープ出版（2012年9月）、日本生協連編『生協ハンドブック』コープ出版（2009年4月）、永井雅子著『生協で働きつづける理由』コープ出版（2006年3月）、中村陽一／21世紀コープ研究センター編『21世紀型生協論－生協インフラの社会的活用とその未来－』日本評論社（2004年6月）
--------	--

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	0	特になし
実技評価	0	特になし	
レポート評価	100	授業時に毎回ミニツノート（簡易なレポート）を作成、提出し、その内容で評価します。	
平常点評価	0	特になし	
その他	0	特になし	

履修上の注意	第1回の授業時に配布する「2018年度現代社会の諸問題A（生協社会論）の履修にあたって」をよく読んでおくこと。受講者カードを提出する。履修上の注意事項を守ること。
--------	---

連絡先・連絡方法など	研究室：板橋キャンパス2号館（研究棟）0528研究室（内線3535） オフィスアワー：毎週金曜日10時から15時まで（研究室にて） E-mail: to-naka@ic.daito.ac.jp
------------	--

その他	公益財団法人生活協同組合総合研究所との連携講座です。講師は、日本生活協同組合連合会の役職者をはじめ、日本生協連参加の協同組合の役職者、職員などの実務経験者です。講座の運営・管理、単位の認定などは担当教員が行います。この講座を受講し、就職活動に活用してください。
-----	--

キャリア特別講座（日本の企業社会A）

担当教員	中村 年春
曜日・時限・開講期	木曜日 4 時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	3 年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	21世紀に入って、国際社会は急激にグローバル化し、世界市場は大きく変動している。そのような中で企業の経営環境も大きく変化し、経営戦略の転換を求められている。特にISO 26000（社会的責任に関する国際規約）やSDGs（持続可能な開発目標）に代表されるように、公正で持続可能な社会の発展に向けて、あらゆる組織が自らの社会的責任を認識し、その責任を果たすべきであるという考え方が国際的に定着しました。とりわけ企業は、所得や雇用等の創出など経済社会の発展になくてはならない存在であるとともに社会、経済、倫理に与える影響が大きいことを認識し、市場の拡大や利潤の極大化を追求するだけでは許されない社会となり、より高度な企業の社会的責任が求められる時代となっている。これらを踏まえて今年度の講義は、「21世紀グローバル社会における戦略的企業経営」をテーマに各企業の取組と対応について説明する。
-------	---

授業の到達目標	現代企業の経営戦略を通して企業の社会的責任、消費者志向経営に向けた取り組みや消費者対応部門の活動の実態を理解し、キャリア支援の一助とする。
---------	---

授業の形態	公益社団法人消費者関連専門家会議（ACAP）と連携して、外部講師によるオムニバス形式で授業を展開する。授業では、パワーポイントを用いた説明、DVDによる企業および事例の紹介、各企業が提供するCSRレポートその他資料の配布および講義レジュメを用いて授業を展開する。
-------	---

	回数	授業内容	担当教員
授業計画	第1回	ACAPの活動とSDGsにつながる消費者志向経営の推進 公益社団法人消費者関連専門家会議	専務理事坂倉忠夫 中村年春
	第2回	ハウス食品の消費者志向経営の取り組み	神宮字慎 中村年春
	第3回	信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社の実現に向けて	坂田祥治 中村年春
	第4回	パナソニックにおける消費者志向経営の取組	田中義雄 中村年春
	第5回	日本生命の「お客様の声」を経営に生かす取り組み	原田昌士 中村年春
	第6回	キャッシュレス決済の進展とクレジットカードについて	重田枝里子 中村年春
	第7回	キリンのCSVとお客様相談室の活動	鈴木淑子 中村年春
	第8回	サラヤのSDGsビジネス	小辻昌平 中村年春
	第9回	アキレス株式会社における社会との共生・顧客起点	堀口茂 中村年春
	第10回	ライオンの「心と体のヘルスケア」実現に向けた取り組み	今井竜司 中村年春
	第11回	TOTO株式会社のものづくり—お客様視点の企業活動	谷一暢樹 中村年春
	第12回	現代企業における女性活躍と女性投与、その現状と課題	ACAP女性活躍推進部会 中村年春
	第13回	グループディスカッション「現代企業における戦略的消費者志向経営を考える」	ACAP消費者啓発委員会 中村年春
	第14回	授業の総括（1）	中村年春
	第15回	授業の総括（2）	中村年春

授業外の学習	事前に配布する授業計画書により各自が企業の情報を入手して4時間程度の事前学習をしておくこと。
--------	--

教科書	使用せず、毎回レジュメ、資料等を配布する。
-----	-----------------------

参考文献など	特になし
--------	------

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	0	特になし
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	100	毎回、授業時にミニツノートを作成、提出し、その内容で評価する。
	平常点評価	0	特になし
その他	0	特になし	

履修上の注意	第1回の授業時に配布する受講者カードを必ず提出すること。履修にあたっての注意事項を必ず守ること。
--------	--

連絡先・連絡方法など	研究室：板橋キャンパス2号館5階0528号室 e-mail: to-naka@ic.daito.ac.jp メールで連絡、問い合わせをするときは、必ず学籍番号と氏名を「明記」すること。 オフィスアワー：水曜日、木曜日、金曜日 13：00～14：00
------------	--

その他	ACAPとの連携講座であり、ACAP関係企業・団体から実務経験のある講師を招き、講義を展開する。実務家教員による講義である。講座の運営・管理、単位の認定などは担当教員が行う。
-----	---

キャリア特別講座（日本の企業社会B）

担当教員	中村 年春
曜日・時限・開講期	木曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	21世紀に入って国際社会は急激にグローバル化し、世界市場は大きく変動している。そのような中で企業の経営戦略は大きく変化し、経営戦略の転換を求められている。特にISO26000（社会的責任に関する国際規約）やSDGs（持続可能な開発目標）に代表されるように公正で持続可能な社会の発展に向けてあらゆる企業が自らの社会的責任を認識し、その責任を果たすべき出るといった考え方が国際的に定着してきた。これらのことを踏まえて今年度の日本の企業社会Bは「21世紀グローバル社会における戦略的企業経営」を講義テーマとし、各企業の対応について説明する。
授業の到達目標	現代企業の経営戦略を通して企業の社会的責任、消費者志向経営の取り組みや消費者対応部門の活動の実態を理解し、キャリア支援の一助とする。
授業の形態	公益社団法人消費者関連専門家（ACAP）と連携して外部講師によるオムニバス形式で授業を展開する。授業では、パワーポイントを用いた説明、DVDによる企業および事例の紹介、各企業が提供するCSRレポートその他資料の配布および講義レジュメを用いて授業を展開する。

授業計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	ACAPの活動から見た日本企業の戦略的企業経営への取り組み	中村年春
第2回	グローバル社会における戦略的企業経営 1	中村年春	
第3回	グローバル社会における戦略的企業経営 2	中村年春	
第4回	グローバル社会における戦略的企業経営 3	中村年春	
第5回	グローバル社会における戦略的企業経営 4	中村年春	
第6回	グローバル社会における戦略的企業経営 5	中村年春	
第7回	グローバル社会における戦略的企業経営 6	中村年春	
第8回	グローバル社会における戦略的企業経営 7	中村年春	
第9回	グローバル社会における戦略的企業経営 8	中村年春	
第10回	グローバル社会における戦略的企業経営 9	中村年春	
第11回	グローバル社会における戦略的企業経営 1 0	中村年春	
第12回	グローバル社会における戦略的企業経営 1 1	中村年春	
第13回	グローバル社会における戦略的企業経営 1 2	中村年春	
第14回	グローバル社会における戦略的企業経営 1 3	中村年春	
第15回	グループディスカッション「グローバル社会における戦略的企業経営」	中村年春	

授業外の学習	事前に配布する授業計画書による各自が企業の情報を入力し、4時間程度の事前学習を心掛けてください。		
教科書	使用せず。毎回講義レジュメ、資料等を配布する。		
参考文献など	特になし		
成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	0	特になし
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	100	毎回、授業時にミニツツノートを作成、提出し、その内容で評価する。
	平常点評価	0	特になし
その他	0	特になし	
履修上の注意	第1回の授業時に配布する受講者カードを必ず提出すること。履修にあたっての注意事項を必ず守ること。		
連絡先・連絡方法など	研究室：板橋キャンパス2号館5階0528号室 e-mail: to-naka@ic.daito.ac.jp メールで連絡、問い合わせをするときは、必ず学籍番号、氏名を明記してください。 オフィスアワー：水曜日、木曜日、金曜日13:00～14:00		
その他	ACAPとの連携講座であり、ACAP関係企業・団体から実務経験のある講師を招き、講義を展開する実務家教員による講座である。講座の運営・管理、単位の認定などは担当教員が行う。		

企業と経営者 A

担当教員	国府 俊一郎
曜日・時限・開講期	木曜日 4時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	企業経営の実際について学び、積極的な質問力を鍛える。具体的には企業や組織の経営者（社長から課長職以上）を講演者に迎え、現在の企業の戦略や求める人材について学習する。（講演者の都合により、講義の順番が前後する可能性がある）
授業の到達目標	①現在の企業や組織の戦略についての問題点についてまとめることができる。②企業で求められる人材についてまとめることができる。 ③理想の自分を描き、現在の学生生活を高い意識を持って過ごすことができる。
授業の形態	大講義形式 (1)担当教員によるイントロダクション (2)外部講師による講演 (3)担当教員モデレートによる質疑応答 (4)フィードバックの作成（担当教員による採点）

	回数	授業内容	担当教員
授業計画	第1回	イントロダクション（講義のスクアポリシー、心構えについて）	国府俊一郎
	第2回	外食と経営	国府俊一郎／小野哲矢（ジョイフル株式会社）
	第3回	ブランドマネジメント	国府俊一郎／中丸真治（株式会社桔梗屋）
	第4回	「雇用創造革命」～社会的起業家という生き方	国府俊一郎／渡邊幸義（アイエスエフネット）
	第5回	物流業の新しい取り組み	国府俊一郎／高嶋民仁（株式会社ウインローター）
	第6回	英会話ビジネスの展望	国府俊一郎／濱野将樹（株式会社イーミックスコンサルティング）
	第7回	企業が学生に期待する能力とは何か？	国府俊一郎／中西文太（株式会社cubridge）
	第8回	都市鉄道の経営環境	国府俊一郎／平田一彦（株式会社東武カードビジネス）
	第9回	「企業と経営者」～消費財マーケティングの事例研究～	国府俊一郎／榊原健郎、横手弘宣（ライオン株式会社）
	第10回	病院マネジメントの実際	国府俊一郎／長原光（埼玉県済生会栗橋病院）
	第11回	水インフラビジネスで社会に貢献	国府俊一郎／三田志津雄（前澤工業株式会社）
	第12回	雨のみちをデザインする 中小企業の経営	国府俊一郎／谷田泰（タニタハウジングウェア）
	第13回	企業経営とフルモールド鋳造法	国府俊一郎／木村寿利（株式会社木村鋳造所）
	第14回	理解度の確認（記述式）	国府俊一郎
	第15回	まとめ	国府俊一郎

授業外の学習	講演のスケジュールを確認し、前もってウェブサイトを確認するなりして予備知識を持っておくこと。講演の内容はノートを作り、要点について1200字程度でまとめること。以上を90分かけて行うことを推奨する。 授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間。
教科書	指定しない。 講演者の予定スケジュールについては以下を参考。 https://drive.google.com/open?id=13MRibYZIDCr66lMeaeMi1TM5LxIV65UmC7r_mJrvv_eY
参考文献など	日本経済新聞（日刊）

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	50	
	実技評価	0	該当なし
	レポート評価	0	該当なし
	平常点評価	50	講義後に提出するフィードバックの点数の合計
	その他	0	該当なし

履修上の注意	経営学総論、人的資源管理論などを受講すれば理解が深まる。 欠席は一回につき1点減点。欠席が多すぎる場合は、学則に基づき評価ができないことがある。 また、予習復習等授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間である。
--------	--

連絡先・連絡方法など	kokubu@ic.daito.ac.jp
------------	-----------------------

その他	1、毎回必ず一つは、講演者に対する質問を用意すること。講演後の質疑応答での発言によって、点数が加算される。また、講演中は私語を慎むこと。状況によっては、退室を命じる。 2、授業内テストでは自筆ノート（コピー貼り付け等不可）のみが参照可能である。積極的にノートをとること。 3、課題の提出は、期日を厳守すること。遅れて提出する場合は、証明できる理由とともに申し出ること。 各授業計画の内容に関連する機関に所属し、実務経験を持つ外部講師を招いて講義を行う予定である。
-----	--

企業と経営者 B

担当教員	国府 俊一郎
曜日・時限・開講期	木曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	企業経営の実際について学び、積極的な質問力を鍛える。具体的には企業や組織の経営者（社長から課長職以上）を講演者に迎え、現在の企業の戦略や求める人材について学習する。企業と経営者Bでは就職活動を意識した講演を数多く準備している。 (講演者の都合により、講義の順番が前後する可能性がある。去年のスケジュールを参考に後期シラバスは作成されている。)
授業の到達目標	①現在の企業や組織の戦略についての問題点についてまとめることができる。②企業で求められる人材についてまとめることができる。 ③就職と将来の自分についての具体的なビジョンを持つことができる。
授業の形態	大講義形式 (1)担当教員によるイントロダクション (2)外部講師による講演 (3)担当教員モデレートによる質疑応答 (4)フィードバックの作成（担当教員による採点）

授業計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	後期のスケジュール確認、スコアポリシー等の説明	国府俊一郎
第2回	チェーンホテル経営	国府俊一郎／外部講師	
第3回	社会起業家と経営	国府俊一郎／外部講師	
第4回	銀行の経営	国府俊一郎／外部講師	
第5回	製造直販業の経営	国府俊一郎／外部講師	
第6回	紙業界の経営	国府俊一郎／外部講師	
第7回	保険業界の経営	国府俊一郎／外部講師	
第8回	靴業界とマーケティング	国府俊一郎／外部講師	
第9回	中小企業経営	国府俊一郎／外部講師	
第10回	日本酒業界の経営	国府俊一郎／外部講師	
第11回	製菓業界の経営	国府俊一郎／外部講師	
第12回	土業と経営	国府俊一郎／外部講師	
第13回	専門商社と人材戦略	国府俊一郎／外部講師	
第14回	塾と教育業界の経営	国府俊一郎／外部講師	
第15回	理解度の確認（筆記）	国府俊一郎	

授業外の学習	講演のスケジュールを確認し、前もってウェブサイトを確認するなりして予備知識を持っておくこと。講演の内容はノートを取り、要点について1200字程度でまとめること。以上を90分かけて行うことを推奨する。 また、予習復習等授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間である。
--------	--

教科書	指定しない。 講演者のスケジュールについては以下を参考。 https://drive.google.com/open?id=13MRibYZIDCr66IMeaeMi1TM5LxIV65UmC7r_mJrnveY
-----	--

参考文献など	日本経済新聞（日刊）
--------	------------

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	50	理解度の確認（筆記試験）
実技評価	0	該当なし	
レポート評価	0	該当なし	
平常点評価	50	毎回提出するフィードバックの採点合計	
その他	0	該当なし	

履修上の注意	経営学総論、人的資源管理論などを受講すれば理解が深まる。 欠席は一回につき1点減点。欠席が多すぎる場合は、学則に基づき評価ができないことがある。
--------	---

連絡先・連絡方法など	kokubu@ic.daito.ac.jp
------------	-----------------------

その他	1、必ず一つは、講演者に対する質問を用意すること。講演後の質疑応答での発言によって、点数が加算される。また、講演中は私語を慎むこと。状況によっては、退室を命じます。 2、授業内テストでは自筆ノート（コピー貼り付け等不可）のみが参照可能である。積極的にノートをとること。 3、課題の提出は、期日を厳守すること。遅れて提出する場合は、証明できる理由とともに申し出ること。 各授業計画の内容に関連する機関に所属し、実務経験を持つ外部講師を招いて講義を行う予定である。
-----	---

環境経営 I

担当教員	鶴田 佳史
曜日・時限・開講期	火曜日 5 時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	3 年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	いま、私たちがとりまく環境は、SDGs（持続可能な開発目標）など「持続可能性（サステナビリティ）」を求めてダイナミックに変化しています。企業は、従来とは異なる新しいビジョンを構築し、経営戦略と組織体制を見直し、全組織的な対応をするようになってきています。このような環境保全に関わる企業の経営行動の変化をたどり分析することにより、「社会や環境の持続可能性を達成する企業行動とはどのようなものだろうか」、また「企業に求められる社会性とは何か」、さらに「企業－社会－環境」の関係性について考えていきます。
授業の到達目標	(1) 持続可能性について概略を理解している。 (2) 持続可能な社会について経済活動との関係からフレームワークを提示することができる。 (3) 持続可能性と企業経営との関係について自分の考えを述べることができる。
授業の形態	講義形式で行います。適宜、映像資料などを用いて講義を行います。

	回数	授業内容	担当教員
授業計画	第1回	オリエンテーション	鶴田佳史
	第2回	地球環境問題（1）：人間の経済活動と環境問題	鶴田佳史
	第3回	地球環境問題（2）：地球環境問題の多様性と複雑性	鶴田佳史
	第4回	持続可能性と国際的取組	鶴田佳史
	第5回	環境規制	鶴田佳史
	第6回	CSRと環境問題	鶴田佳史
	第7回	環境経営のフレームワーク（1）：環境経営の背景と変遷	鶴田佳史
	第8回	環境経営のフレームワーク（2）：環境経営の理念	鶴田佳史
	第9回	環境マネジメントシステム	鶴田佳史
	第10回	環境リスク	鶴田佳史
	第11回	環境戦略（1）：環境戦略のコンセプト	鶴田佳史
	第12回	環境戦略（2）：環境事業の創造	鶴田佳史
	第13回	環境マーケティング（1）：目標と戦略	鶴田佳史
	第14回	環境マーケティング（2）：環境志向型の消費者	鶴田佳史
	第15回	まとめ	鶴田佳史

授業外の学習	授業はもちろんのこと、自分自身が問題意識を持ち、世の中の様々な事象・現象を捉えることが重要です。そのため以下のことを授業外で行ってください。 社会において企業活動が持つ意味を読み解くために、各種メディアの情報等を日々チェックしてください。授業で紹介された理論や事例について、関連する文献等を読み、授業内容について復習してください。予習・復習を含め、授業外学習に必要な時間は1回の講義につき4時間とします。
--------	---

教科書	野村佐智代・佐久間信夫・鶴田佳史編（2014）『やさしい環境経営』ニネルヴァ書房 重版しておらず書店で入手できないため、第2回と第3回の講義にて授業該当箇所のコピーを配布します。第2回と第3回の講義以外では配布しないため気をつけて下さい。
-----	--

参考文献など	特にありません。
--------	----------

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	50	期末試験
	実技評価	0	特になし
	レポート評価	0	特になし
	平常点評価	50	授業への参加度
その他	0	特になし	

履修上の注意	「環境マネジメント概論」「環境経営Ⅱ」を履修することが望ましい。 第1回授業でオリエンテーションを行います。授業の進行方法と内容について説明し、授業に必要な資料（ポートフォリオ等）を配付します。履修希望者は必ず出席するようにして下さい。授業に出席し、節度ある受講態度で授業に臨むことを強く求めます。遅刻、私語、無断での途中入退出は一切認めません。毎回出席をとりまます。欠席回数が全授業回数の3分の1を超えた場合には評価の対象外となります。「環境経営Ⅱ」でも同じ教科書を使用します。
--------	---

連絡先・連絡方法など	オフィスパワーは、木曜日12:30～13:00（学習支援コーナー：板橋図書館前）です。 相談等は、オフィスパワー、メールあるいは授業時に相談して下さい。 メールアドレスは、授業内で案内します。
------------	--

その他	この講義の目的は、知的興奮をいかに多く共有し、共鳴し、共進でき、充実した今を生きるかにあります。持続可能性と企業活動との関係を中心に、持続可能な経営について理解を深めながら一緒に勉強しましょう。ISO14001審査員補・エコアクション21審査員・KES環境マネジメントシステムスタンダード主幹審査員・エコステージ主任評価員の資格を持ち、環境マネジメントシステム審査の実務経験あり。
-----	--

環境経営Ⅱ

担当教員	鶴田 佳史
曜日・時限・開講期	火曜日 5時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	3年生
単位	2
開講キャンパス	板橋

授業の概要	本講義では、環境経営の理論について学ぶだけでなく、実際の事例にふれることで環境経営への理解を進めます。そのため、企業、行政、市民、NGO/NPO等のさまざまな主体の環境経営の取組みについて映像等を用いて実際の事例を数多く紹介します。
授業の到達目標	(1) 企業の環境戦略について基礎的な知識を習得している。 (2) 環境ビジネスについて基礎的な知識を習得している。 (3) 持続可能な経営について自分の考えを述べることができる。
授業の形態	講義形式で行います。適宜、映像資料などを用いて講義を行います。

授業計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	オリエンテーション	鶴田佳史
第2回	ライフ・サイクル・アセスメント (LCA)	鶴田佳史	
第3回	環境会計と環境監査	鶴田佳史	
第4回	環境コミュニケーション	鶴田佳史	
第5回	環境人材育成 (環境教育)	鶴田佳史	
第6回	環境ビジネスと環境技術	鶴田佳史	
第7回	環境コンサルティングと第三者評価	鶴田佳史	
第8回	エコツーリズム	鶴田佳史	
第9回	環境金融	鶴田佳史	
第10回	環境配慮型製品・サービス	鶴田佳史	
第11回	低炭素経済・グリーンエネルギー	鶴田佳史	
第12回	カーボンビジネス	鶴田佳史	
第13回	深刻化する水問題	鶴田佳史	
第14回	生物多様性ビジネス	鶴田佳史	
第15回	サステナビリティと企業経営：環境経営から持続可能経営へ	鶴田佳史	

授業外の学習	授業はもちろんのこと、自分自身が問題意識を持ち、世の中の様々な事象・現象を捉えることが重要です。そのため以下のことを授業外で行ってください。 社会において企業活動が持つ意味を読み解くために、各種メディアの情報等を日々チェックしてください。授業で紹介された理論や事例について、関連する文献等を読み、授業内容について復習してください。予習・復習を含め、授業外学習に必要な時間は1回の講義につき4時間とします。
--------	---

教科書	野村佐智代・佐久間信夫・鶴田佳史編 (2014) 『やさしい環境経営』ミネルヴァ書房 重版しておらず書店で入手できないため、第2回と第3回の講義にて授業該当箇所のコピーを配布します。第2回と第3回の講義以外では配布しないため気をつけて下さい。
-----	--

参考文献など	特にありません。
--------	----------

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	50	期末試験
実技評価	0	特になし	
レポート評価	0	特になし	
平常点評価	50	授業への参加度	
その他	0	特になし	

履修上の注意	「環境マネジメント概論」「環境経営Ⅰ」を履修していることが望ましい。 第1回授業でオリエンテーションを行います。授業の進行方法と内容について説明し、授業に必要な資料（ポートフォリオ等）を配付します。履修希望者は必ず出席するようにして下さい。授業に出席し、節度ある受講態度で授業に臨むことを強く求めます。遅刻、私語、無断での途中入退出は一切認めません。毎回出席をとりま。欠席回数が全授業回数の3分の1を超えた場合には評価の対象外となります。 「環境経営Ⅰ」でも同じ教科書を使用します。
--------	---

連絡先・連絡方法など	オフィスアワーは、木曜日12:30～13:00（学習支援コーナー：板橋図書館前）です。 相談等は、オフィスアワー、メールあるいは授業時間に相談して下さい。 メールアドレスは、授業内で案内します。
------------	---

その他	この講義の目的は、知的興奮をいかに多く共有し、共鳴し、共進でき、充実した今を生きるかにあります。企業の環境経営は、技術、システム、ビジネスモデルともに変化し進歩しています。各種メディアの情報、環境報告書などを日々チェックしましょう。 また、「環境経営」について学び、さらに、その知識を社会で活用できるようになってもらいたいと願っています。常に社会性を持った学生としてこの授業を受けて下さい。 ISO14001審査員補・エコアクション21審査員・KES環境マネジメントシステムスタンダード主幹審査員・エコステージ主任評価員の資格を持ち、環境マネジメントシステム審査の実務経験あり。
-----	---

東南アジア地域研究 3 (東南アジア経済とグローバル化)

担当教員	遠藤 元
曜日・時限・開講期	月曜日 4 時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	2 年生
単位	2
開講キャンパス	東松山

授業の概要	東南アジアは、東アジア諸国をはじめ国際経済との強い関わりのなかで近年目覚ましい経済成長を遂げてきた。この講義では、そうした東南アジアの経済発展の過程とその要因について、おもに経済のグローバル化の観点から考察する。講義では、「どのような」という経済状況の説明だけでなく、「どうして（そうなったのか）」という事柄の要因や理由の説明に力を入れる。経済用語を使用する場合は、その言葉の説明も丁寧に行うので、経済学に苦手意識を持つ人も恐れず受講してもらいたい。
授業の到達目標	(1) 東南アジア経済の現状を解説できる。 (2) 東南アジア地域の多様性と共通性を解説できる。
授業の形態	毎回、講義の初めにその日の課題を提示し、講義の最後にその課題に対して小レポート方式で回答してもらう。採点済みの小レポートを次回の講義の最初に返却し、前回の講義を簡単に振り返る。このようにして、通常の一方向的講義ではなく、双方向的な授業になるように努める。

授業 計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	ガイダンス：講義のねらい	遠藤元
	第2回	東南アジア経済の特徴	遠藤元
	第3回	東南アジア経済史の概観 (1)	遠藤元
	第4回	東南アジア経済史の概観 (2)	遠藤元
	第5回	貿易	遠藤元
	第6回	直接投資 (1)	遠藤元
	第7回	直接投資 (2)	遠藤元
	第8回	直接投資と企業内貿易・産業内貿易	遠藤元
	第9回	国際労働力移動	遠藤元
	第10回	1997年の通貨・金融危機 (1)	遠藤元
	第11回	1997年の通貨・金融危機 (2)	遠藤元
	第12回	1997年の通貨・金融危機 (3)	遠藤元
	第13回	中所得国の民	遠藤元
	第14回	地域経済統合と東南アジア	遠藤元
	第15回	まとめ	遠藤元

授業外の学習	新聞やテレビのニュースなどを通じて、毎日、東南アジアの経済社会の動きを把握しておく。		
教科書	特定のテキストは使用せず、講義のテーマごとに関連資料を配布する。		
参考文献など	大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』有斐閣、1997年 末廣昭『キャッチアップ型工業化論』名古屋大学出版会、2000年		
成績評 価の方 法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	50	期末試験の結果
	実技評価	0	なし
	レポート評価	0	なし
	平常点評価	50	毎回授業中に課す小レポートの内容
その他	0	なし	
履修上の注意	各回の講義内容は互いに関連しあうので、毎回欠かさずに出席すること。また、「東南アジア地域研究 4 (東南アジアの暮らしと経済)」も履修することが望ましい。		
連絡先・連絡方法など	研究室：東松山校舎第 2 研究棟 4 階 4 3 7 号室		
その他	一般に考えられている以上に、日本と東南アジアの経済関係は広く深い。この講義をはじめ、新聞やテレビなどメディアを通じて、東南アジアの今の動きに関心をもってほしい。		

東南アジア地域研究 4 (東南アジアの暮らしと経済)

担当教員	遠藤 元
曜日・時限・開講期	月曜日 4 時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	2 年生
単位	2
開講キャンパス	東松山

授業の概要	東南アジアの経済発展過程とその帰結について、肯定的側面と否定的側面の両面を具体的に見ていく。その際、国内のさまざまな経済主体、すなわち、企業、農民、労働者、消費者、政府などの主体的行動に焦点を当てて考察する。講義では、受講生が実感をとまなう理解ができるように、できるだけ具体的な事例を交えて説明する。併せて、東南アジアの経済について研究するうえで、地域研究にはどのような意義があるのかを解説する。
授業の到達目標	(1) 東南アジアの経済成長の肯定的側面と否定的側面を解説できる。 (2) 東南アジア地域の多様性を解説できる。
授業の形態	毎回、講義の初めにその日の課題を提示し、講義の最後にその課題に対して小レポート方式で回答してもらう。採点済みの小レポートを次回の講義の最初に返却し、前回の講義を簡単に振り返る。このようにして、通常の一方向的講義ではなく、双方向的な授業になるように努める。

授業 計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	ガイダンス：なぜ、経済主体を取り上げるのか？	遠藤元
	第2回	農民と慣習経済	遠藤元
	第3回	「緑の革命」と農村社会の変容	遠藤元
	第4回	地域間所得格差・人口移動・都市化	遠藤元
	第5回	都市インフォーマル経済とスラム	遠藤元
	第6回	都市中間層の実像と虚像（1）都市中間層は民主化の担い手か？	遠藤元
	第7回	都市中間層の実像と虚像（2）：都市中間層は消費の担い手か？	遠藤元
	第8回	消費市場と多様化する流通	遠藤元
	第9回	「スーパーマーケット革命」と東南アジアの生産・流通システム	遠藤元
	第10回	環境問題（1）：森林破壊と****	遠藤元
	第11回	環境問題（2）：産業公害と****	遠藤元
	第12回	工業化の担い手（1）：財閥の特徴	遠藤元
	第13回	工業化の担い手（2）：財閥の事例	遠藤元
	第14回	開発体制：起源・展開・溶解	遠藤元
	第15回	まとめ	遠藤元

授業外の学習	新聞やテレビのニュースなどを通じて、毎日、東南アジアの経済社会の動きを把握しておく。		
教科書	特定のテキストは使用せず、講義のテーマごとに関連資料を配布する。		
参考文献など	遠藤元『新興国の流通革命—タイのモザイク状消費市場と多様化する流通』日本評論社、2010年		
成績評 価の方 法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	50	期末試験の結果
	実技評価	0	なし
	レポート評価	0	なし
	平常点評価	50	毎回授業中に課す小レポートの内容
その他	0	なし	
履修上の注意	各回の講義内容は互いに関連しあうので、毎回欠かさずに出席すること。また、「東南アジア地域研究 3 (東南アジア経済とグローバル化)」も履修することが望ましい。		
連絡先・連絡方法など	研究室：東松山校舎第 2 研究棟 4 階 4 3 7 号室		
その他	一般に考えられている以上に、日本と東南アジアの経済関係は広く深い。この講義をはじめ、新聞やテレビなどメディアを通じて、東南アジアの今の動きに関心をもってほしい。		

比較文化特殊講義（現代社会の宗教とスピリチュアリティA）

担当教員	小尾 淳
曜日・時限・開講期	木曜日 4時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	1年生
単位	2
開講キャンパス	東松山

授業の概要	日本人はしばしば「無宗教」と言われますが、人生の節目である冠婚葬祭・年中行事などでは伝統宗教の規範に従う人々がまだ多いようです。また、一方で、近年では従来の「宗教」の枠組みを越えた新しい信仰の形として「スピリチュアリティ（霊性）」に関心をもつ人々が増えており、諸領域にも影響を及ぼしています。本講義ではこうした日本人の緩やかな宗教観がいかに形成されてきたのかを歴史的側面から探ると共に、近年の変化に目を向けて行きます。
授業の到達目標	1) 日本における宗教の重層性について歴史的側面から説明できる。 2) 宗教やスピリチュアリティと諸領域の関係について関心をもつ。 3) 日本人の宗教観について自分の考えを明確にできる。
授業の形態	基本的に講義形式で行いますが、適宜、講師から質問を投げかけ意見を求めます。履修人数によってはディスカッションを行うこともあります。

授業 計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	イントロダクション～日本人は無宗教？	小尾淳
	第2回	現代のお墓事情	小尾淳
	第3回	神とカミ	小尾淳
	第4回	日本神話の世界	小尾淳
	第5回	日本の仏教、世界の仏教	小尾淳
	第6回	禅宗の特異性	小尾淳
	第7回	日本のキリスト教の歴史	小尾淳
	第8回	日本の中のイスラーム	小尾淳
	第9回	日本の宗教とナショナリズム	小尾淳
	第10回	宗教と世界文化遺産	小尾淳
	第11回	スピリチュアリティと自己啓発	小尾淳
	第12回	スピリチュアリティと日本のサブカルチャー	小尾淳
	第13回	スピリチュアリティと食・医療	小尾淳
	第14回	総括 日本人の宗教観を考える	小尾淳
	第15回	筆記試験	小尾淳

授業外の学習	宗教やスピリチュアリティに関する文献を半期で3冊以上読むこと。 小レポートと期末課題は期限までに提出すること。
--------	--

教科書	適宜、資料を配布します。
-----	--------------

参考文献など	井上順孝『神道入門 日本人にとって神とは何か』、平凡社、2006年、840円＋税。 中村圭志『信じない人のための〈宗教講義〉』、みずす書房、2007年、2500円＋税。 『池上彰と考える、仏教って何ですか?』、飛鳥新社、2012年、1300円＋税。 DVD『沈黙-サイレンス』、（販売元）ソニー・ピクチャーズエンタテインメント、2017年、3800円＋税。
--------	---

成績評 価の方 法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	40	授業内容を理解した上で、自分の意見を明文化できる
	実技評価	0	なし
	レポート評価	30	小レポートと期末課題を提出している
	平常点評価	30	授業への積極的な参加態度
その他	0	なし	

履修上の注意	講義への積極的な参加・主体的な学びの姿勢を評価します。 欠席が全授業回数の3分の1を超えた場合は、評価の対象外とします。
--------	---

連絡先・連絡方法など	メールアドレス jun_obi@ic.daito.ac.jp
------------	--------------------------------

その他	授業以外でも、年中行事や、地元の祭礼、寺社仏閣の縁起などについて、既に知っていることと思わず調べてみてください。また、宗教を扱った映画・ゲーム・マンガなどから学ぶことも多くあります。
-----	---

比較文化特殊講義（現代社会の宗教とスピリチュアリティB）

担当教員	小尾 淳
曜日・時限・開講期	木曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	1年生
単位	2
開講キャンパス	東松山

授業の概要	<p>昨今、多様性と包摂を推進するビジネス界において「他者」の宗教理解は常識となりつつあります。その反面、世界の様々な宗教にまつわる問題に終わりは見えません。一方で、20世紀半ばから欧米を中心に「伝統宗教」に代わる「スピリチュアリティ」（精神性）への関心が高まり、従来の宗教的枠組みだけでは捉えきれない現象も多く見られます。本講義では多様な宗教的価値観・思想・歴史を学ぶと共に、国際問題を取り上げながら現代社会における宗教とスピリチュアリティの役割について考えていきます。</p>
授業の到達目標	<p>1) 多様な宗教的価値観や思想を学び、広い視野で物事を捉えることができる。 2) 宗教にまつわる国際問題を客観的に分析することができる。 3) 現代社会における宗教やスピリチュアリティの役割について自分の考えを明確にできる。</p>
授業の形態	<p>基本的に講義形式で行いますが、適宜、講師から質問を投げかけ意見を求めます。履修人数によってはディスカッションを行うこともあります。</p>

授業計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	イントロダクション 宗教の光と影	小尾淳
	第2回	変容する宗教	小尾淳
	第3回	一神教と多神教	小尾淳
	第4回	宗教と戦争	小尾淳
	第5回	宗教とジェンダー	小尾淳
	第6回	イスラームと女性 映画鑑賞『少女は自転車に乗って』	小尾淳
	第7回	宗教ナショナリズム	小尾淳
	第8回	スピリチュアリティ概説	小尾淳
	第9回	中国のスピリチュアリティ（タオ）	小尾淳
	第10回	インドのスピリチュアリティ（ヨーガの思想）	小尾淳
	第11回	宗教/スピリチュアリティと食・環境	小尾淳
	第12回	宗教/スピリチュアリティと教育	小尾淳
	第13回	クリスマスの精神	小尾淳
	第14回	現代社会における宗教の多義性	小尾淳
	第15回	総括	小尾淳

授業外の学習	<p>宗教やスピリチュアリティに関する文献を半期で3冊以上読むこと。 課題を1～2回出しますので期限までに提出すること。</p>
--------	--

教科書	<p>適宜、資料を配布します。</p>
-----	---------------------

参考文献など	<p>中村圭志『信じない人のための〈宗教講義〉』、みずす書房、2007年、2500円＋税。 小杉泰『イスラームとは何か～その宗教・社会・文化』、講談社、1994年、839円＋税。 上馬キリスト教会『上馬キリスト教会の世界一ゆらい聖書入門』、講談社、2008年、1300円＋税。 パラマハムサ・ヨガナンダ『あるヨギの自叙伝』、森北出版、1983年、4200円＋税。 DVD『少女は自転車に乗って』、（販売元）アルバトロス、2014年、3800円＋税。</p>
--------	--

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	40	授業内容を理解した上で自分の意見を明確化できる。
	実技評価	0	なし
	レポート評価	30	小レポートと期末課題を提出している。
	平常点評価	30	積極的に授業に参加している。
その他	0	なし	

履修上の注意	<p>講義への積極的な参加・主体的な学びの姿勢を評価します。 欠席が全授業回数の3分の1を超えた場合は、評価の対象外とします。</p>
--------	---

連絡先・連絡方法など	<p>メールアドレス jun_obi@ic.daito.ac.jp</p>
------------	---------------------------------------

その他	<p>日々のニュースや情報をうのみにせず「なぜ」という疑問を常に持つようしてみましょう。 文献の他、インターネット・映画などのメディアを大いに活用し楽しみながら学んでください。</p>
-----	--

東南アジア地域研究 5 (東南アジア近代史)

担当教員	中野 亜里
曜日・時限・開講期	金曜日 4時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	1年生
単位	2
開講キャンパス	東松山

授業の概要	植民地時代から独立に至るまでの東南アジア各文化圏の政治・経済・社会変動の過程を概観する。植民地分割された「英領マラヤ」「蘭領東インド」「仏領インドシナ」「米領フィリピン」および独立を維持したタイについて、近代国家建設をめざすナショナリズムの形成・発展を核として、各地域・国家の特色や歴史的人物などを取り上げて解説する。
授業の到達目標	①植民地化以前の東南アジアの各文化圏、②植民地分割後の各文化圏の変容、③独立をめざすナショナリズム運動の概容を把握し、自分の言葉で説明できるようにする。
授業の形態	教科書の内容に沿った講義。視聴覚教材を用いることもある。

	回数	授業内容	担当教員
	授業 計画	第1回	ガイダンス：授業の進め方、教科書、試験、評価方法など。
第2回		「東南アジア」という「世界」	中野亜里
第3回		重層的な文化(1)：インド文化の受容	中野亜里
第4回		重層的な文化(2)：中華文化の影響	中野亜里
第5回		重層的な文化(3)：交易の時代・イスラームの受容	中野亜里
第6回		植民地化(1)：東南アジア世界の分割	中野亜里
第7回		植民地化(2)：宗主国による「開発」と社会の変容	中野亜里
第8回		ナショナリズムの萌芽	中野亜里
第9回		「社会主義」の独自の適用	中野亜里
第10回		日本の東南アジア進出	中野亜里
第11回		「大東亜戦争」と南方政策	中野亜里
第12回		日本軍の南方政策と独立運動	中野亜里
第13回		独立国家建設の困難(1)	中野亜里
第14回		独立国家建設の困難(2)	中野亜里
第15回		まとめ	中野亜里

授業外の学習	教科書を読んで予習しておく。		
教科書	中野亜里 他『入門 東南アジア現代政治史』福村出版 2016年		
参考文献など	教科書に掲載されている参考文献を参照のこと。		
成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	80	授業で指摘したポイント、重要語句などを明記していること。文法・漢字が正しいこと。
	実技評価	0	なし
	レポート評価	0	なし
	平常点評価	20	出席率3分の2以上を単位取得の最低条件とする。
その他	0	なし	
履修上の注意	授業に取り組む姿勢を重視するので、責任ある受講態度をとること。		
連絡先・連絡方法など	出講は原則的に、火曜・木曜・金曜。相談のある時は研究室へ。		
その他	出席率が3分の2以上でも、試験の評価が低い場合は不合格となる。		

東南アジア地域研究 6 (東南アジア現代史)

担当教員	中野 亜里
曜日・時限・開講期	金曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	1年生
単位	2
開講キャンパス	東松山

授業の概要	東南アジアの各国について、植民地からの独立と近代国民国家の建設、国民統合、民主化をめぐる諸問題を概観する。
授業の到達目標	東南アジア諸国の現在の政治・経済・社会・文化状況について、各々の国家の成り立ちをふまえ、具体的事件や歴史上の人物などを挙げて説明できるようになること。
授業の形態	教科書の内容に沿った講義。視覚教材も用いる。

授業 計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	ガイダンス：授業の進め方、教科書、試験、成績評価など。	中野亜里
	第2回	第二次世界大戦の終結から冷戦へ	中野亜里
	第3回	冷戦下の分断国家：ベトナム	中野亜里
	第4回	ベトナム戦争と周辺国：タイ	中野亜里
	第5回	東南アジアのブロック化	中野亜里
	第6回	カンボジア紛争の発生	中野亜里
	第7回	東南アジアの冷戦の終結	中野亜里
	第8回	開発独裁の国々	中野亜里
	第9回	国民国家の再編(1)	中野亜里
	第10回	国民国家の再編(2)	中野亜里
	第11回	民主化問題(1)：ミャンマーの軍政	中野亜里
	第12回	民主化問題(2)：ミャンマーの民政移管とその後の問題	中野亜里
	第13回	民主化問題(3)：ベトナム・カンボジア	中野亜里
	第14回	民主化問題(4)：タイの軍事支配	中野亜里
	第15回	まとめ	中野亜里

授業外の学習	教科書を読んで予習しておくこと。		
教科書	中野亜里 他『入門 東南アジア現代政治史』 福村出版 2016年		
参考文献など	教科書に掲載されている参考文献を参照のこと。		
成績評 価の方 法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	80	授業で指摘したポイント、重要語句などを明記していること。文法・漢字が正しいこと。
	実技評価	0	なし
	レポート評価	0	なし
	平常点評価	20	出席率3分の2以上を単位取得の最低条件とする。
その他	0	なし	
履修上の注意	授業に取り組む姿勢を重視するので、責任ある受講態度をとること。		
連絡先・連絡方法など	出講日は原則的に火・木・金曜日。相談のある時は研究室へ。		
その他	出席率が3分の2以上でも、試験の評価が低い場合は不合格になる。		

南アジア地域研究9（シルクロード文化論）

担当教員	勝木 言一郎
曜日・時限・開講期	金曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	1年生
単位	2
開講キャンパス	東松山

授業の概要	中国・カザフスタン・キルギスの世界遺産「シルクロード：長安＝天山回廊の交易路網」、日本の世界遺産「法隆寺地域の仏教建造物」「古都奈良の文化財」、中国の世界遺産「雲崗石窟」「龍門石窟」「莫高窟」、アフガニスタンの世界遺産「バーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群」、インドの世界遺産「アジャンターの石窟寺院群」「エローラ石窟寺院群」、イランの世界遺産「ペルセポリス」を例に、各国がシルクロードを通してさまざまな外来文化を受容し、そして独自に展開してきた歴史を考察する。
授業の到達目標	○シルクロードに関連する世界遺産に関心をもつ。 ○東西文化の交流を分析できる。
授業の形態	授業は講義形式を基本とする。毎回、視聴覚機器やプリントを使用することで授業の理解を促す。

授業計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	奈良 世界遺産「法隆寺地域の仏教建造物」—シルクロードの終着駅（1）	勝木言一郎
第2回	奈良 世界遺産「古都奈良の文化財」、正倉院—シルクロードの終着駅（2）	勝木言一郎	
第3回	大同 世界遺産「雲崗石窟」—騎馬民族の皇帝がつくった大仏	勝木言一郎	
第4回	洛陽 世界遺産「龍門石窟」、鞏県石窟寺—古代中国の首都につくられた大仏	勝木言一郎	
第5回	西安 大雁塔、小雁塔、彬県大仏寺石窟—遣唐使が見た国際都市長安	勝木言一郎	
第6回	天水・蘭州 麦積山石窟、炳靈寺石窟—絶景につくられた大仏	勝木言一郎	
第7回	敦煌 世界遺産「莫高窟」—砂漠の大画廊	勝木言一郎	
第8回	安西・酒泉・張掖・武威 榆林窟—河西回廊のオアシス	勝木言一郎	
第9回	トゥルファン 交河故城、高昌故城、ベゼクリク石窟—『西遊記』ゆかりの地	勝木言一郎	
第10回	クチャ スパン故城、キシル石窟、クムトラ石窟—シルクロードの音楽の故郷	勝木言一郎	
第11回	ホータン、楼蘭 ヨトカン故城—中国人がこよなく愛した玉（ぎょく）の故郷	勝木言一郎	
第12回	バーミヤン、ガンダーラー—仏像のルーツを訪ねて	勝木言一郎	
第13回	世界遺産「アジャンター石窟寺院群」「エローラ石窟寺院群」—インド仏教美術の栄華	勝木言一郎	
第14回	シラーズ 世界遺産「ペルセポリス」—ペルシャ帝国の栄光とアレクサンドロス大王	勝木言一郎	
第15回	泉州 開元寺、老君岩造像—海のシルクロードにおける東側の拠点	勝木言一郎	

授業外の学習	○シルクロードの文化を理解するために、東西文化交流史関連の図書や視聴覚資料を閲覧する。 ○シルクロード（西域）の美術品や考古資料、歴史資料を所蔵する美術館や博物館を訪ね、シルクロード（西域）の文化を理解する。
--------	---

教科書	『シルクロード文化論 教材』を購入すること。
-----	------------------------

参考文献など	長澤和俊編『シルクロードを知る事典』（2002年、東京堂出版） 辛島昇文；大村次郷写真『海のシルクロード：中国・泉州からイスタンブールまで』（2000年、集英社） 野口信彦著『もうひとつのシルクロード：西域からみた中国の素顔』（2002年、大月書店） 王鉞著；金連縁訳『シルクロード全史』（2002年、中央公論新社） 長澤和俊監修『シルクロード入門 = An introduction to the Silk Road』（2005年、東京書籍）
--------	--

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	0	なし
実技評価	0	なし	
レポート評価	40	学期末レポートおよび小レポート	
平常点評価	60	授業への参加度および授業中に実施する小テスト	
その他	0	なし	

履修上の注意	なし。
--------	-----

連絡先・連絡方法など	東松山教務事務室へ伝言すること。
------------	------------------

その他	本授業の担当教員は東京文化財研究所、東京国立博物館の実務経験を有する。
-----	-------------------------------------

文化財マネジメントⅠ

担当教員	勝木 言一郎
曜日・時限・開講期	金曜日 4時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	2年生
単位	2
開講キャンパス	東松山

授業の概要	「法隆寺地域の仏教建造物」「古都奈良の文化財」「古都京都の文化財」「紀伊山地の霊場と参詣道」「厳島神社」「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」「姫路城」「日光の社寺」など、日本各地に残る世界遺産を例に、日本の文化財の特質を深める。また「石窟庵と仏国寺」「慶州歴史地域」などの韓国の世界遺産、「サーンチー—仏教建造物群」「アジャンター—石窟群」「エローラ—石窟群」などのインドの世界遺産、「タキシラ」「タフテ・パヒーの仏教遺跡群とサリ・パロールの近隣遺跡群」などのパキスタンの世界遺産を例に、アジア各地の文化財の諸相にもふれながら、日本の文化財とのつながりを考察する。
授業の到達目標	○東アジア地域における美術の大きな流れを把握できる。 ○グローバルな視点から文化的な影響関係を捉え直すことができる。
授業の形態	授業は講義形式を基本とする。毎回、視聴覚機器やプリントを使用することで授業の理解を促す。

授業計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	日本における中国文化の受容と展開 (1)飛鳥時代の有形文化財	勝木言一郎
第2回	日本における中国文化の受容と展開 (2)奈良時代前期の有形文化財	勝木言一郎	
第3回	日本における中国文化の受容と展開 (3)奈良時代後期の有形文化財	勝木言一郎	
第4回	日本における中国文化の受容と展開 (4)平安時代前期の有形文化財	勝木言一郎	
第5回	日本における中国文化の受容と展開 (5)平安時代後期の有形文化財	勝木言一郎	
第6回	日本における中国文化の受容と展開 (6)鎌倉時代の有形文化財	勝木言一郎	
第7回	日本における中国文化の受容と展開 (7)南北朝・室町時代の有形文化財	勝木言一郎	
第8回	日本における中国文化の受容と展開 (8)安土桃山時代の有形文化財	勝木言一郎	
第9回	日本における中国文化の受容と展開 (9)江戸時代前期の有形文化財	勝木言一郎	
第10回	日本における中国文化の受容と展開 (10)江戸時代後期の有形文化財	勝木言一郎	
第11回	朝鮮における中国文化の受容と展開 (1)朝鮮三国時代の有形文化財	勝木言一郎	
第12回	朝鮮における中国文化の受容と展開 (2)高麗時代の有形文化財	勝木言一郎	
第13回	朝鮮における中国文化の受容と展開 (3)李氏朝鮮時代の有形文化財	勝木言一郎	
第14回	中央アジア、東アジアに受容されたインド文化の展開 (1)インド、ガンダーラの有形文化財	勝木言一郎	
第15回	中央アジア、東アジアに受容されたインド文化の展開 (2)インド、マトゥラーの有形文化財	勝木言一郎	

授業外の学習	○美術館・博物館をはじめ、史跡名勝や神社仏閣、画廊などに足を運び、絵画・彫刻・工芸・書・考古資料・歴史資料・建造物などの有形文化財と接する機会を多くもつ。 ○図書館が所蔵する美術書、展覧会図録などを利用し、有形文化財の歴史を把握する。		
教科書	『文化財マネジメントⅠ 教材』を購入すること。		
参考文献など	古代オリエント博物館編『シルクロードの響き—ペルシア・敦煌・正倉院—』（2002年、山川出版社） 古代オリエント博物館編『シルクロード～植物文様の世界』（2006年、山川出版社）		
成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	0	なし
	実技評価	0	なし
	レポート評価	40	学期末レポートおよび小レポート
	平常点評価	60	授業への参加度および授業中に実施する小テスト
その他	0	なし	
履修上の注意	2018年以前に入学した学生は前期科目「東アジア地域研究1 2（東アジア芸術研究A）」もあわせて履修することが望ましい。		
連絡先・連絡方法など	東松山教務事務室へ伝言すること。		
その他	本授業の担当教員は東京文化財研究所、東京国立博物館の実務経験を有する。		

仏教文化論 A

担当教員	勝木 言一郎
曜日・時限・開講期	金曜日 5時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
学年	1年生
単位	2
開講キャンパス	東松山

授業の概要	日本の世界遺産「法隆寺地域の仏教建造物」「古都奈良の文化財」「古都京都の文化財」「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」「日光の社寺」、中国の世界遺産「莫高窟」「雲崗石窟」「龍門石窟」「五台山」「大足石刻」、韓国の世界遺産「石窟庵と仏国寺」、インドの世界遺産「サーンチー仏教建造物群」「アジャンター石窟寺院群」「エローラ石窟寺院群」、パキスタンの世界遺産「タフテ・バヒーの仏教遺跡群とサリ・パロールの近隣遺跡群」、インドネシアの世界遺産「ポロブトゥール寺院遺跡群」、カンボジアの世界遺産「アンコール遺跡」などを例に、アジア各地に展開したさまざまな仏教文化を仏教思想から読み解く。
授業の到達目標	○アジア各地における仏教文化の展開を把握できる。 ○グローバルな視点から文化的な影響関係を捉え直すことができる。 ○仏教思想の視点から文化の構築を理解できる。
授業の形態	授業は講義形式を基本とする。毎回、視聴覚機器やプリントを使用することで授業の理解を促す。

	回数	授業内容	担当教員
授業計画	第1回	仏像から読み解く仏の種類	勝木言一郎
	第2回	仏像から読み解く仏の姿かたち	勝木言一郎
	第3回	仏伝図から読み解く釈迦の生涯	勝木言一郎
	第4回	本生図から読み解く釈迦の前世	勝木言一郎
	第5回	阿弥陀浄土図から読み解く極楽浄土の世界	勝木言一郎
	第6回	阿弥陀来迎図から読み解く極楽浄土へのいざない	勝木言一郎
	第7回	大仏の来た道を西にたどる	勝木言一郎
	第8回	仏教に取り入れられた中国儒教思想と親孝行	勝木言一郎
	第9回	薬師経変相から読み解く無病息災の仏	勝木言一郎
	第10回	仏教説話に基づく阿弥陀仏の図像	勝木言一郎
	第11回	『大唐西域記』に記された毘沙門天の伝説と図像	勝木言一郎
	第12回	六道絵から読み解く地獄	勝木言一郎
	第13回	地藏菩薩と十王	勝木言一郎
	第14回	空（くう）の話	勝木言一郎
	第15回	観音菩薩による衆生の救済	勝木言一郎

授業外の学習	○仏教文化を理解するために、仏教思想や仏教文化に関連した図書や視聴覚資料を閲覧する。 ○美術館・博物館をはじめ、神社仏閣などに足を運び、仏教関係の絵画・彫刻・工芸・書・考古資料・歴史資料・建造物などの有形文化財と接する機会を多くもつ。 ○図書館が所蔵する美術書、展覧会図録などを利用し、仏教の文化を把握する。		
教科書	なし。		
参考文献など	なし。		
成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	0	なし
	実技評価	0	なし
	レポート評価	40	学期末レポートおよび小レポート
	平常点評価	60	授業への参加度および授業中に実施する小テスト
その他	0	なし	
履修上の注意	仏教文化論Bを履修することが望ましい。		
連絡先・連絡方法など	東松山教務事務室へ伝言すること。		
その他	本授業の担当教員は東京文化財研究所、東京国立博物館の実務経験を有する。		

仏教文化論B

担当教員	勝木 言一郎
曜日・時限・開講期	金曜日 5時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
学年	1年生
単位	2
開講キャンパス	東松山

授業の概要	巨鳥ガルダ（迦楼羅）、ライオンのヘルメットを被った護法神ガンダルヴァ（乾闥婆）、半人半鳥あるいは馬頭人間の姿をしたキンナラ（緊那羅）、人面をもつ鳥カラヴィンカ（迦陵頻伽）、一身双頭の鳥ジーヴァジーヴァ（共命鳥）など、仏教に登場する神や幻獣について、仏教経典や物語からそれらの概念を探るとともに、世界遺産や文化財に表現されたそれらのイメージを読み解く。
授業の到達目標	○仏教に登場する神や幻獣の概念とイメージの形成について、東西文化交流史研究の視点から比較考察ができる。 ○仏教の神や幻獣を通じて、現代のサブカルチャーが仏教文化と無縁どころか、むしろ深い関わりをもっていることを理解できる。
授業の形態	授業は講義形式を基本とする。毎回、視聴覚機器やプリントを使用することで授業の理解を促す。

授業計画	回数	授業内容	担当教員
	第1回	巨鳥の姿をしたガルダ（迦楼羅）	(1)南アジアにおける成立と展開
第2回	巨鳥の姿をしたガルダ（迦楼羅）	(2)南アジアにおける受容と展開	勝木言一郎
第3回	巨鳥の姿をしたガルダ（迦楼羅）	(3)中央アジアにおける受容と展開、東アジアにおける受容と展開	勝木言一郎
第4回	ライオンのヘルメットを被った護法神ガンダルヴァ（乾闥婆）	南アジアにおける成立と展開、中央アジア・東アジアにおける受容と展開	勝木言一郎
第5回	半人半鳥あるいは馬頭人間の姿をしたキンナラ（緊那羅）	南アジアにおける成立と展開、東南アジア・中央アジア・東アジアにおける受容と展開	勝木言一郎
第6回	人面をもつ鳥カラヴィンカ（迦陵頻伽）	東アジアにおける受容と展開	勝木言一郎
第7回	一身双頭の鳥ジーヴァジーヴァ（共命鳥）	東アジアにおける受容と展開	勝木言一郎
第8回	人面をもつ鳥セイレーン、ハルピュイア、人面をもつ獣スフィンクスと鎮墓獣	古代地中海世界における諸相	勝木言一郎
第9回	馬頭観音ハヤグリヴァ、獅子頭をもつ人間ヌリシンハ	アジアにおける諸相	勝木言一郎
第10回	三面六臂の護法神アスラ（阿修羅）	南アジアにおける成立と展開、中央アジア・東アジアにおける受容と展開	勝木言一郎
第11回	天使と飛天	西アジアにおける成立と展開、キリスト教世界における受容と展開	勝木言一郎
第12回	麒麟	東アジアにおける成立と展開	勝木言一郎
第13回	象頭人間の姿をした歓喜天ガネーシャ	南アジアにおける成立と展開、東南アジア・東アジアにおける受容と展開	勝木言一郎
第14回	英雄ヘーラクレースと執金剛新	地中海世界における成立と展開、中央アジア、東アジアにおける受容と展開	勝木言一郎
第15回	仏教に登場する幻獣の概念		勝木言一郎

授業外の学習	○美術館・博物館をはじめ、史跡名勝や神社仏閣などに足を運び、絵画・彫刻・工芸・考古資料・歴史資料・建造物などの有形文化財の中に表現された仏教の神や幻獣を探してみる。 ○図書館が所蔵する美術書、展覧会図録などを利用し、仏教の神や幻獣を探してみる。
--------	---

教科書	『仏教文化論B 教材 2019』を購入すること。
-----	--------------------------

参考文献など	勝木言一郎・宮下佐江子・菅澤茂著『人面鳥と有翼人のイメージにみる東西文化の交流』（2003年、ソフトマシン） 勝木言一郎著『日本の美術』481号「人面をもつ鳥 - 迦陵頻伽の世界」（2006年、至文堂） 勝木言一郎著『日本の美術』510号「龍」（2008年、至文堂）
--------	---

成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	0	なし
	実技評価	0	なし
	レポート評価	40	学期末レポートおよび小レポート
	平常点評価	60	授業への参加度および授業中に実施する小テスト
その他	0	なし	

履修上の注意	仏教文化論Aを履修することが望ましい。
--------	---------------------

連絡先・連絡方法など	東松山教務事務室へ伝言すること。
------------	------------------

その他	本授業の担当教員は東京文化財研究所、東京国立博物館の実務経験を有する。
-----	-------------------------------------